

その他の便利な機能

● アラーム機能を使う（アラーム）

機能番号54

設定した日付の時刻にアラーム音を鳴らすことができます。アラーム動作時には、メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

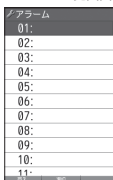
お買い上げ時：
未登録

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

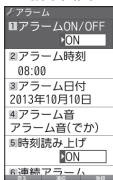
1 ▶ 5 ▶ 4 「アラーム」

アラーム一覧画面



2 登録／編集したいアラーム番号を選択し、 「選択」

アラーム登録／編集画面



以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> アラームON/OFF お買い上げ時： 「ON」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」 または <input type="checkbox"/> 「OFF」 ▶ <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻に、アラームを鳴らすかどうかを設定します。	
<input type="checkbox"/> アラーム時刻 お買い上げ時： 「現在の時刻 (XX:XX)」	▶ 時刻(24時制)を入力し、 <input type="checkbox"/> 「確定」 指定した時刻にアラームを鳴らします。	
<input type="checkbox"/> アラーム日付*1 お買い上げ時： 「現在の日付 (XXXX年 XX月XX日)」	<input type="checkbox"/> 日付指定 (年月日)	▶ 年月日を入力し、 <input type="checkbox"/> 「確定」 ▶ <input type="checkbox"/> 「確定」 指定の年月日の、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。年月日は西暦(4桁)、月(2桁)、日(2桁)を、2013年1月1日～2090年12月31日の間で入力します。
	<input type="checkbox"/> 毎日	毎日、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input type="checkbox"/> 平日(月～金)	平日(月～金)の、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input type="checkbox"/> 週末(土、日)	週末(土、日)の、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input type="checkbox"/> 曜日指定	▶ <input type="checkbox"/> 1～ <input type="checkbox"/> 7 (曜日を選択) ▶ <input type="checkbox"/> 1 「ON」 ▶ <input type="checkbox"/> 「確定」 「ON」を設定した曜日のみ、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。複数の曜日を指定できます。

4 アラーム音 お買い上げ時： 「固定パターン」 / 「アラーム音」 本体カラー ・ブラック ・シルバー ・ピンク 「アラーム音 (でか)」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	1 固定パターン ▶ パターンを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム音を、あらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。
	2 メロディ ▶ メロディを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム音を、あらかじめ用意されている8種類のメロディから選択します。
	3 データフォルダ ▶ アラーム音を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム音を、データフォルダから選択します。
5 時刻読み上げ お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」または2 「OFF」 アラーム動作時に時刻を読み上げるかどうかを設定します。
6 連続アラーム お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 「ON」または2 「OFF」 「ON」に設定すると、5分ごとに5回アラームを鳴らします。
7 アラーム鳴動時間 お買い上げ時： 「1分」	▶ 1 ~ 5 (時間を選択) アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。
8 アラームメッセージ お買い上げ時： 「設定なし」	▶ メッセージを入力し、 <input type="checkbox"/> 【登録】 アラーム動作時、メインディスプレイに表示するメッセージを入力します (全角・半角共に32文字まで)。
9 アラーム画像 お買い上げ時： 「表示なし」	1 固定画像 ▶ 固定画像を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム画像を、あらかじめ用意されている5種類の画像から選択します。
	2 データフォルダ ^{*2*} ▶ 画像を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム画像をデータフォルダから選択します。
	3 表示なし アラーム起動中に画像を表示しません。


*1：過去の日時を指定した場合はアラームを登録することができません。

*2：一部の画像を除き、「240×400」より大きなサイズの画像は登録できません。

*3：microSDカードのデータは選択できません。

3 **【登録】** を押す

お知らせ

- アラーム音やアラーム画像を選択した後、**[再生]** または **[メニュー]** ▶ **[再生]** で、選択した音や画像を再生することができます。
アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **[戻る]** **[戻る]** : 再生を終了します。
 - ・ **[全画面表示]** : データフォルダの画像データを全画面表示します。アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **[再生]** **[再生]** / **[停止]** : 再生を終了します。
 - ・ **[戻る]** **[戻る]** : 再生を終了します。マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、アラーム音の再生はできません。
- アラームを設定すると、待受画面に「」が表示されます。また、アラーム一覧画面では「**[アラーム ON/OFF]**」が「**[ON]**」に設定されているアラームに「**[▼]**」が表示されます。
- アラーム機能の登録/編集は、以下の手順でも行えます。
待受画面で **[▶]** **[アクセサリ]** を選択し、**[選択]** ▶ **[2]** **[アラーム]** ▶ **[登録/編集したいアラーム番号を選択]**、**[選択]**
- アラーム指定時刻になってもアラームが鳴らない場合があります。
例：
 - ・ 本機起動中/終了中
 - ・ 本機の電源OFF時
 - ・ 通話中/発信中/着信中/データ通信中
 - ・ 伝言メモ応答録音中/再生中
 - ・ メール送信中/受信中
 - ・ 動画の録画中
 - ・ ガジェットの初期化中
 - ・ 「PCフォルダ」の初期化中
 - ・ USBマストレージ起動中
 - ・ リセット中 (機能/メモリ/完全消去+初期化)
 - ・ リモートロック中
 - ・ アラーム/スケジュールアラーム/TODOアラーム鳴動中
 - ・ Myボイスメモ録音中/再生中
 - ・ 位置情報通知中
 - ・ Bluetoothでの電話帳送受信中
 - ・ パソコンとのデータ転送中
 - ・ 赤外線通信中
 - ・ ソフトウェア更新中
- アラーム音量やバイブレータの設定は、「アラームの音量/バイブレータを設定する」(198ページ) をご参照ください。
- 「アラーム音」を「パターン1 (でか)」または「アラーム音 (でか)」に設定すると、他のアラーム音の音量よりも大きくなります。

アラーム設定を削除する

アラーム一覧画面で **[削除したいアラーム設定を選択]** ▶ **[メニュー]** ▶ **[2]** **[削除]**


以下の項目から選択します。

[1] 1件	選択したアラーム設定を削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。
[2] 全件	登録されているアラーム設定をすべて削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに **いずれかのキーを押す**

ご注意

- アラーム動作中に着信があると、アラーム動作を停止します。
- 連続アラームの場合は、アラーム動作停止後に連続アラームの解除方法が表示されます。**[解除]** を長く (1秒以上) 押すと、連続アラームは解除されます。
- 連続アラームを解除せずに待受画面に戻った場合は、待受画面に「」が点滅します。連続アラームを解除するには、以下の手順で行います。
待受画面で **[▶]** **[▶]**

お知らせ

- 本体を開いているときは、本体を閉じてもアラームを止めることができます。

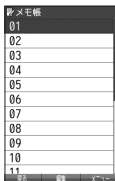
● メモ帳を使う

本機をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

メモ帳を登録する

待受画面で ▶ **「メモ」** を選択し、 **「選択」** ▶ **「メモ帳」** ▶ **登録するメモ帳** を選択し、 **「編集」** ▶ **メモを入力し、** **「登録」**

メモ帳一覧画面



メモ帳
01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角・半角共に512文字までです。
- メモ帳入力画面のメニューについては、「文字入力メニューを使う」(71ページ) をご参照ください。
メモ帳入力画面のメニューで **「登録」** を押しでもメモ帳に登録できます。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、作成していたメモの内容は、一時的に保存されます。再度メモ作成を開始すると、確認画面が表示されます。 **「はい」** を押しと、作成を再開できます。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。

メモ帳のメニューを使う

メモ帳一覧画面で **「メニュー」** を押す

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 編集	▶ メモを編集し、 <input type="checkbox"/> 「登録」
<input type="checkbox"/> コピー	▶ コピー先を選択し、 <input type="checkbox"/> 「OK」 メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
<input type="checkbox"/> ショートカット	「メモ帳」をお気に入りメニューへ登録します(「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「1件」、 <input type="checkbox"/> 「選択」、または <input type="checkbox"/> 「3」 「全件」 メモを削除します(「各機能の情報削除する」273ページ)。
<input type="checkbox"/> 赤外線送信*	メモを赤外線で送信します(「赤外線で送信する」286ページ)。

* : メモ帳が登録されている番号を選択したときのみ表示されます。

お知らせ

- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、確認画面が表示されます。 **「はい」** を押しと、メモを書き換えて登録します。

詳細を表示する

メモ帳一覧画面で **表示させたいメモ帳** を選択し、 **「表示」**

お知らせ

- メモ帳の詳細画面では、 **「メニュー」** を押しと、以下の操作を行うことができます。

<input type="checkbox"/> 編集	▶ メモを編集し、 <input type="checkbox"/> 「登録」
<input type="checkbox"/> コピー	▶ コピー先を選択し、 <input type="checkbox"/> 「OK」 表示しているメモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
<input type="checkbox"/> ショートカット	表示しているメモをお気に入りメニューへ登録します(「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 を押し 表示しているメモを削除します。
<input type="checkbox"/> 赤外線送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 表示しているメモを赤外線で送信します(「赤外線で送信する」286ページ)。

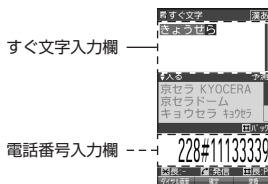
- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、確認画面が表示されます。 **「はい」** を押しと、メモを書き換えて登録します。

● 待受画面で文字を入力してさまざまな機能を使う(すぐ文字[®])

「すぐ文字」(75ページ)を「ON」に設定すると待受画面で文字を入力できます。入力した文字はさまざまな機能に利用できます。



- 「すぐ文字」入力中でも、以下の発信に関する操作もできます。
 - ・ で電話番号入力欄に入力した電話番号に電話をかける。(52ページ)。
 - ・ スピードダイヤルで電話をかける。(52ページ)。(スピードダイヤルでのメール、Webページへのアクセスはダイヤル画面で操作できます)
 - ・ 【ダイヤル画面】でダイヤル画面(48ページ)を表示する。
- 「すぐ文字」の機能を利用後は、「すぐ文字」の画面に戻る場合があります。

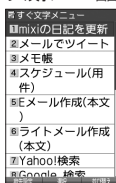


すぐ文字[®]でさまざまな機能を使う

待受画面で **文字を入力し**、 【すぐ文字メニューへ】 / 【閉じる】*

* : 「予測変換設定」(74ページ)を「ON」に設定しているときに操作します。

すぐ文字メニュー画面



以下の項目から選択します。

mixiの日記を更新	<p>◆ メールの件名と本文を編集 ◆ 【送信】</p> <p>入力した文字でmixiの日記を更新します。 全角・半角共に最初の40文字は件名(タイトル)となり、それ以降の文字は本文となります。ただし、最初の40文字以内で改行した場合は、改行前の文字までが件名(タイトル)となります。</p>
メールでツイート	<p>◆ メールの本文を編集 ◆ 【送信】</p> <p>入力した文字をツイッターに投稿します。</p>
メモ帳	<p>入力した文字をメモ帳に登録します(「メモ帳を使う」255ページ)。 登録済みのメモ帳を選択して 【編集】 で 「追記」を押すと、入力した文字が末尾に追記されます。 「上書き」を押すと、入力した文字でメモ帳を上書きします。</p>
スケジュール(用件)	<p>入力した文字を用件としたスケジュールを作成します(「スケジュールの各項目に登録する」217ページ)。</p>
Eメール作成(本文)	<p>入力した文字を本文としたEメールを作成します(「Eメール(テキストメール/デコラティブメール)を作成して送信する」94ページ)。</p>
ライトメール作成(本文)	<p>入力した文字を本文としたライトメールを作成します(「ライトメールを作成して送信する」103ページ)。</p>
Yahoo!検索	<p>入力したキーワードをYahoo!で検索します。</p>
Google 検索	<p>入力したキーワードをGoogleで検索します。</p>
漢字チェック	<p>◆ で文字を選択し、確認</p> <p>入力した文字を拡大して、1文字ずつ確認します。</p>
NAVITIME乗換検索	<p>◆ ~ (位置情報通知の有無を選択)</p> <p>入力した区間の乗り換え案内を検索できます。検索方法について、詳しくは258ページをご参照ください。 「NAVITIME乗換検索」を選択中に、 【確認設定】を押すと、位置情報を通知するときに確認するかどうかを設定できます。</p>
地図検索	<p>入力した地名を地図で検索します。</p>

W+Book検索	入力した文字をW+Bookで検索します。
ツイッターサーチ	入力した文字をツイッターで検索します。
電話帳登録 (名前)	入力した文字を名前とした電話帳を作成します (「電話帳に登録する」76ページ)。
電話帳検索 (名前)	入力した文字の名前/読みを電話帳で検索します (「電話帳データを検索する」85ページ)。
電話帳検索 (ヨミ)	
TODO (用件)	入力した文字を用件としたTODOを作成します (「TODOの各項目に登録する」222ページ)。

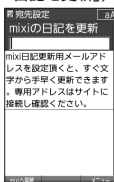
🔔 ご注意

- 「mixiの日記を更新」 / 「メールでツイート」を利用するときは、mixi / ツイッターへの登録や専用メールアドレスの設定が必要です。Eメールアドレスの設定や、mixi / ツイッターのWebページへのアクセスは宛先設定画面から行うことができます。

宛先設定画面を表示するには、以下の操作を行います。

すぐ文字メニュー画面で「mixiの日記を更新」 / 「メールでツイート」を選択 ▶ 【宛先設定】

宛先設定画面
(例:「mixiの日記を更新」)



📢 お知らせ

- 「すぐ文字」(75ページ)を「ON」に設定すると、待受画面から以下の機能を利用することができます。「OFF」に設定しているときは利用できません。

■ 電話帳データを検索する

待受画面ですぐ文字入力欄に名前を入力 (▶) * ▶ 【電話帳検索】

* : 「予測変換設定」(74ページ)を「ON」に設定しているときに操作します。

■ 電卓を使う

待受画面で電話番号入力欄に数字を入力 ▶ 【ダイヤル画面】 ▶ 【メニュー】 ▶ 「電卓」を選択し、 【選択】 ▶ 計算する

- すぐ文字に入力できる文字数は全角・半角共に最大2000文字までです。ただし、有効な文字数 (全角・半角)は選択する項目により、異なります。

項目	有効な文字数	項目	有効な文字数
mixiの日記を更新	2000文字	地図検索	25文字
メールでツイート	2000文字	W+Book検索	50文字
メモ帳	512文字	ツイッターサーチ	50文字
スケジュール (用件)	20文字	電話帳登録 (名前)	24文字
Eメール作成 (本文)	2000文字	電話帳検索 (名前)	24文字
ライトメール作成 (本文)	全角45文字 / 半角90文字	電話帳検索 (ヨミ)	24文字
Yahoo!検索	25文字	TODO (用件)	20文字
Google 検索	50文字	電話帳検索	24文字
漢字チェック	40文字	電卓	10文字
NAVITIME乗換検索	50文字		

- 最初に入力する文字は「漢字・ひらがなモード」です。

- すぐ文字メニュー画面では、以下の操作で項目を並び替えることができます。

すぐ文字メニュー画面で並び替えたい項目を選択 ▶ 【並び替え】 ▶ 並び替えたい位置* / 「最下位に設定」を選択し、 【選択】

* : 選択した項目のひとつ上に移動します。

- 「NAVITIME乗換検索」で検索するときには、以下の項目を順番に入力してください。入力する項目は省略できるものもあります。

順番	項目	詳細	省略した場合
①	出発駅名	出発駅名を入力します。 位置情報を通知する場合は、出発駅名を省略できます。出発駅名には最寄り駅が設定されます。 位置情報を通知しない場合は、出発駅名を省略できません。	最寄り駅
②	<input type="checkbox"/> (スペース) /から/~* ¹	出発駅名の後に入力します。	-
③	到着駅名* ²	到着駅名を入力します。	(省略不可)
④	<input type="checkbox"/> (スペース) /まで* ¹	到着駅名の後に入力します。	-
⑤	時刻* ³	出発時刻または到着時刻を入力します。 以下のいずれかの方法で、24時間制で入力します。 例：午前9時20分の場合 9:20/9:20/9時20分/0920	現在時刻
⑥	<input type="checkbox"/> (スペース) /に* ¹	時刻の後に入力します。	-
⑦	出発/到着	「出発」または「到着」を入力します。 ⑤で入力した時刻に出発するか、到着するかを指定することができます。	出発
	始発/終電	「始発」または「終電」を入力します。 現在時刻での「始発」または「終電」を指定することができます。	

*¹：①⑤⑦の内、省略した項目により入力が必要なくなります。

*²：到着駅名は必ず入力してください。

*³：⑦で始発/終電を指定するときは、入力が必要なくなります。

検索する文字は以下のように入力します。

- 出発駅—到着駅間を、出発時刻/到着時刻を指定して検索する場合*

出発駅名 到着駅名 時刻 出発/到着

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

例：横浜 東京 0920 出発

- 出発駅—到着駅間の始発/終電を検索する場合*

出発駅名 到着駅名 始発/終電

① ② ③ ④ ⑦

例：横浜 東京 始発

- 出発駅—到着駅間の現在時刻での出発を検索する場合*

出発駅名 到着駅名

① ② ③

例：横浜 東京

- 最寄り駅—到着駅間を、出発時刻/到着時刻を指定して検索する場合*

到着駅名 時刻 出発/到着

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

例：東京 0920 到着

- 最寄り駅—到着駅間の現在時刻での出発を検索する場合

到着駅名

③

例：東京

*：②④⑥で (スペース) を入力した場合の例です。

● 漢字チェックを利用する（漢字チェック）

画数の多い漢字などを画面に大きく表示して確認することができます。

待受画面で

1  ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 4  「漢字チェック」

2 チェックしたい漢字を入力 ▶  「決定」 ▶  で文字を選択

入力した文字が1文字ずつ表示されます。

 ご注意

- 改行は入力できません。
- 絵文字は入力できますが、拡大して表示することはできません。

 お知らせ

- 入力できる文字数は全角・半角共に最大40字までです。

● ダイヤルメモを使う (ダイヤルメモ)

通話中に電話番号などを入力しダイヤルメモとして保存することができます。

ダイヤルメモを登録する

通話中に **番号を入力し、** **電話帳** **[ダイヤルメモ]**



- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイヤルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイヤルメモから自動的に削除されます。

ダイヤルメモを呼び出して使う

待受画面で **□** ▶ **[メモ]** を選択し、**□** **[選択]** ▶ **4** **[ダイヤルメモ]** ▶ **⇩** で利用したいダイヤルメモを選択 ▶ **かろ** **[メニュー]**

以下の項目から選択します。

1 [発信]	▶ □ [発信] を押す 選択したダイヤルメモの電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
2 [電話帳へ登録]	1 [新規] 選択したダイヤルメモの電話番号を電話帳に登録します（「電話帳に登録する」76ページ）。
	2 [追加] ▶ 追加登録する電話帳データを選択し、□ [選択] ▶ 登録先を「電話番号1~3」から選択し、□ [選択] ▶ □ [登録] ▶ □ [はい] すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。
3 [ライトメール作成]	選択したダイヤルメモの電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」103ページ）。
4 [削除]	▶ □ [1件] または □ [2] [全件] ダイヤルメモを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。



- 以下の電話番号を入力中にダイヤルメモを引用できます。
 - ・着信拒否する電話番号の入力（「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ）
 - ・発信を許可する電話番号の入力（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」230ページ）
 - ・リモートロックの許可番号指定の入力（「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ）
- ライトメールの宛先入力画面（宛先の電話番号を直接入力する画面）では、以下の手順でダイヤルメモを引用できます（「ライトメールを作成して送信する」103ページ）。
宛先入力画面で **かろ** **[引用]** ▶ **5** **[ダイヤルメモ]** ▶ **電話番号を選択し、□** **[選択]**

● 待受中に音声を録音する (Myボイスメモ登録)

待受中にマイクから音声を録音します。最大約30秒間録音できます。録音したMyボイスメモはデータフォルダ (本体メモリのメインフォルダ) の「サウンドタブ」に保存されます。

■ メインメニューから録音する場合

待受画面で

1 ▶ 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 3 「Myボイスメモ」 ▶ 1 「録音」

■ サイドキーから録音する場合

待受画面で

1 シャッター/メモ (サイドキー) ▶ 3 「Myボイスメモ録音」

2 【開始】 ▶ 録音開始 ▶ 約30秒経過または 【停止】 で録音終了

● ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください。

● お知らせ

- 録音したMyボイスメモのデータは、Myボイスメモ一覧とデータフォルダの「サウンドタブ」から再生できます。
- 録音したMyボイスメモのファイル名は、以下の形式で保存されます。
例：2013年10月10日12時34分56秒に録音して保存した場合
「20131010_123456.kmv」
- 録音したMyボイスメモを再生するには、以下の手順で行います。

■ 録音直後に再生する場合

Myボイスメモ録音画面で 【再生】 を押す

■ 録音直後以外で再生する場合

待受画面で/通話中に ▶ 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 3 「Myボイスメモ」 ▶ 2 「再生」 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】

または

待受画面でシャッター/メモ (サイドキー) ▶ 4 「Myボイスメモ再生」 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】

通話中にMyボイスメモを再生すると、再生内容が自分と相手の両方に聞こえます。

- 再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ : 音量を調節できます。
 - ・ : 前または次のMyボイスメモを選択します。再生するには 【開始】 を押します。
 - ・ 【停止】 : 再生が停止します。
- Myボイスメモを再生したときの音量と、受話音量 (66ページ) は同じ音量になります。また、どちらかの音量を変更するともう一方の音量も同じ大きさになります。
- Myボイスメモ一覧画面で以下の操作を行うと、メニュー画面が表示されます。

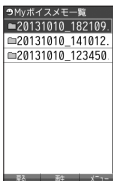
Myボイスメモ一覧画面で 【メニュー】

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 ショートカット	Myボイスメモ一覧をお気に入りメニューへ登録します (「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> 2 削除	▶ <input type="checkbox"/> 1 「1件」または <input type="checkbox"/> 2 「全件」 Myボイスメモを削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。
<input type="checkbox"/> 3 ファイル名編集	▶ ファイル名を編集し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 Myボイスメモのファイル名を編集します (括弧子を含めて全角・半角共に40文字まで)。

- 通話中以外でMyボイスメモ再生中に を押すと、スピーカー/レシーバー (受話部) での再生を切り替えることができます。

Myボイスメモ一覧画面



● 通信中の電話の着信を設定する（通信中着信）

機能番号17

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）に電話がかかってきたとき、着信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」

待受画面で ▶ 1 ▶ 7

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 起動	パケット通信中（フレックスチェンジ方式含む）： 着信した電話を受ける（通話する）ことができます。 通話中、PIAFS通信中（フレックスチェンジ方式含む）： 着信した電話を受ける（通話する）ことができませんが着信したことはわかります。
<input type="checkbox"/> 2 停止	通信中は、電話の着信ができません。

🔍 ご注意

- 「通信中着信」を 1 「起動」に設定していても、通信環境によっては着信できないことがあります。
- 通信中に着信があった場合、電話を受けると通信が切断されます。
- Bluetooth通話中は設定に関わらず着信します。

📧 お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中着信動作を行うことができません。

● 通信中のメール受信を設定する（通信中メール受信）

機能番号18

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）にEメール／ライトメールの受信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」

待受画面で ▶ 1 ▶ 8

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 起動	パケット通信中（フレックスチェンジ方式含む）： Eメール／ライトメールを受信することができます。 通話中、PIAFS通信中（フレックスチェンジ方式含む）： Eメール／ライトメールの受信をすることはできません。
<input type="checkbox"/> 2 停止	通信中は、Eメール／ライトメールの受信をすることができません。

🔍 ご注意

- 「通信中メール受信」を 1 「起動」に設定していても、通信環境によっては受信できない場合があります。
- Eメールの「通信中メール受信」の動作は、ウィルコムのみ有効となります。
- Bluetooth通話中は設定に関わらずEメール／ライトメールを受信します。

📧 お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中メール受信動作を行うことができません。

プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1 ▶ 0 ▶ [表示] ▶ [メニュー] ▶ 6 [編集]

以下の項目から選択します。

項目	詳細
(名前)	自分の名前を入力します (全角・半角共に24文字まで)。
(ヨミ)	名前の読みを入力します (半角カナ・半角英数字・半角記号で24文字まで)。
(電話番号) (電話番号種別)	電話番号を入力し (32桁まで)、電話番号種別を選択します。
(メールアドレス) (メールアドレス種別)	Eメールアドレスを入力し (半角で64文字まで)、Eメールアドレス種別を選択します。
(住所) (住所種別)	住所を入力し (全角・半角共に40文字まで)、住所の種別を選択します。
URL (URL)	URLを入力します (半角英数字・半角記号で255文字まで)。
血液型	血液型を選択します。
誕生日	誕生日を入力します。
星座	星座を選択します。
(趣味)	趣味を入力します (全角・半角共に10文字まで)。
(メモ)	メモを入力します (全角・半角共に80文字まで)。
画像	データフォルダの画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「電話帳に登録する」(76ページ) をご参照ください。

2 各項目を入力し、 [登録] または [登録]

ご注意

● 「アカウント設定」(119ページ) で「アカウント1」／「アカウント2」の「メールサーバー設定」を設定しているときは、プロフィールのEメールアドレス1/Eメールアドレス2を編集できません。

お知らせ

- 「電話番号1」には、自分の電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
- 「Eメールアドレス3」は、オンラインサインアップ(92ページ) で取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

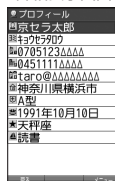
登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で ▶ 0 ▶ **【表示】**

プロフィール
詳細表示画面

⚠️ ご注意

- 「Eメールアドレス3」は、オンラインサインアップ（92ページ）を行っていない場合、表示されません。
- 「アカウント設定」（119ページ）で「アカウント1」／「アカウント2」の「メールサーバー設定」を設定しているときは、「メールサーバー設定」に登録したEメールアドレスがプロフィールのEメールアドレス1／Eメールアドレス2に表示されます。また、このときプロフィールのEメールアドレスは編集できません。



📢 お知らせ

- プロフィール詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。

項目	操作内容
電話番号2 電話番号3	▶ <input type="checkbox"/> 【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。
Eメールアドレス1 Eメールアドレス2 Eメールアドレス3	▶ <input type="checkbox"/> 【Eメール作成】 を押す 選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）」を作成して送信する」94ページ）。
URL	▶ <input type="checkbox"/> 【接続】 を押す Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」124ページ）。
（画像）	▶ <input type="checkbox"/> 【再生】 を押す 選択している画像データを表示します。

■ プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で 【かわ】 【メニュー】 を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

項目	操作内容
1 発信* ¹	<p>▶ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> 【発信】 を押す</p> <p>選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。</p>
2 ライトメール作成* ¹	<p>選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」103ページ）。</p>
3 Eメール作成* ²	<p>選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。</p>
4 URL接続* ³	<p>ブラウザを起動し、選択したURLに接続します。</p>
5 Eメールへ添付	<p>プロフィールからアドレスカード（vCard）を作成してEメールに添付します。アドレスカードはデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「名刺/予定タブ」に保存されます。</p> <p>添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、ファイル名は「名前.vcf」となります。プロフィールの名前にファイル名として使用できない半角記号（<>:¥*/?* .;）が含まれているときは、「notitle.vcf」となります。</p>
6 編集	<p>プロフィールの情報を編集します。</p>
7 リセット	<p>▶ <input type="checkbox"/> 【はい】 を押す</p> <p>追加したプロフィール情報（電話番号1とメールアドレス3以外）をリセットします。ただし、「アカウント設定」（119ページ）で「アカウント1」/「アカウント2」の「メールサーバー設定」を設定しているときは、Eメールアドレス1/Eメールアドレス2はリセットされません。</p>
メニュー 赤外線送信	<p>▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了</p> <p>プロフィールを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。</p>

*¹：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。

*²：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。

*³：URLを選択しているときのみ表示されます。

● 通話時間を表示する

通話時間についての機能や表示の設定を行います。

通話時間の合計を表示する（累積通話時間）

機能番号 11

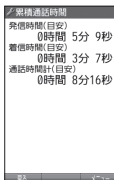
今までにかけた電話と、かかってきた電話の通話時間合計の目安を表示します。

待受画面で ▶ ▶

以下の項目が表示されます。

発信時間（目安）	今までにかけた電話の通話時間合計の目安です。
着信時間（目安）	今までにかかってきた電話の通話時間合計の目安です。
通話時間計（目安）	かけた電話とかかってきた電話の通話時間合計の目安です。

累積通話時間
表示画面



ご注意

- この時間表示は目安です。
- Bluetooth通話での通話時間は含まれません。

お知らせ

- 累積通話時間は999時間59分59秒まで表示されます。これを超えた場合、累積通話時間の表示は999時間59分59秒で停止します。
- 累積通話時間のリセットは、以下の手順で行います。
累積通話時間表示画面で 【メニュー】 ▶ 「通話時間リセット」 ▶ 暗証番号を入力

通話中に通話時間を表示させる（通話時間目安表示）

機能番号 12

通話時間目安表示を「ON」に設定すると、通話中に通話時間の経過が表示され、通話終了後に通話時間が表示されます。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

ご注意

- この時間表示は目安です。

● エニーキーアンサーを設定/解除する（エニーキーアンサー）

機能番号 14

エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、電話がかかってきたとき、、～、、、、、、のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。
「OFF」に設定すると、のみで電話を受けられます。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

● 本体を開いたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン）

機能番号 16

電話の着信時に本体を開いて電話を受けたり、着信音を消したり、本体を振動させたりするなどの設定を行います。

お買い上げ時：
「状態継続」

待受画面で ▶ ▶ ▶

以下の項目から選択します。

状態継続	本体を開く動作を行っても状態は変わりません。
着信応答	着信中の電話を受けます。
サイレント	着信音が消音になります。パイブレータが設定されているときは、パイブレータも止まります。
サイレント+パイブ	着信音が消音になり、本機が振動します。

● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て）

機能番号95

待受中にフロントジョグキー \square で行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：
「送受信メールBOX」

待受画面で \square \triangleright **9** \triangleright **5**

以下の項目から選択します。

機能名	フロントジョグキー操作	\uparrow	\downarrow
1 名前順		電話帳を「名前順」で表示します。	
2 電話帳No.順		電話帳を「電話帳No.順」で表示します。	
3 グループ順		電話帳を「グループ順」で表示します。	
4 送受信メールBOX		受信BOX画面を表示します。	送信BOX画面を表示します。
5 音声着信音量		音声着信音量を設定します（194ページ）。	

● ご注意

- ここで設定したフロントジョグキー操作は、待受中のみ行うことができます。待受中以外の状態では、通話中は受信音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

● センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押し割り当て）

機能番号96

待受中にセンターキー長押しで行うことのできる機能を設定します。

お買い上げ時：
「Eメール受信」

待受画面で \square \triangleright **9** \triangleright **6**

以下の項目から選択します。

1 Eメール受信	Eメールを受信します。
2 カメラ起動	カメラのフォト撮影/ムービー撮影を起動します。前回起動していたカメラ機能（フォト撮影/ムービー撮影）で起動します。
3 Java™アプリ一覧	Java™アプリ一覧を起動します。
4 電卓	電卓を起動します。
5 ブックマーク	ブックマーク一覧を起動します。
6 テンプレート	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「テンプレートタブ」を呼び出します。
7 メモ帳	メモ帳を起動します。
8 録音再生	「音声/伝言メモ一覧」「伝言メモ設定」「Myボイスメモ録音」「Myボイスメモ再生」から選択し、録音や再生を行います。
9 カレンダー	カレンダーを起動します。

● ご注意

- ここで設定したセンターキー長押し操作は、待受中のみ行うことができます。

● 電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はメインディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 「電卓」

2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

	+（たす）		小数点を入力します。
	-（ひく）		M+（メモリに加算）
	×（かける）		%（パーセント表示）
	÷（わる）		MR（メモリの値を表示）
	=（計算結果表示）		C（表示している数字のクリア）



お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- を続けて2回押すとメモリをクリアします。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき を押すとエラーが解除されます。
- 「すぐ文字」（75ページ）を「ON」に設定しているときに以下の操作を行うと、待受画面で数字を入力して電卓を利用することができます。

待受画面で電話番号入力欄に数字を入力 ▶ 【ダイヤル画面】 ▶ 【メニュー】 ▶ 「電卓」を選択し、 【選択】 ▶ 計算する

● イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）

機能番号19

「イヤホン自動応答」を「ON」に設定すると、イヤホンマイク（市販品）を接続しているときに、手元で操作しなくても「イヤホン自動応答秒数」（268ページ）で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

ご注意

- 伝言メモ（57ページ）が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- イヤホンマイクのスイッチでも着信応答ができます。
- イヤホンマイクはmicroUSBのもが使用できます。また、イヤホン変換ケーブルを利用して、φ3.5（4極）のイヤホンマイクを使用することもできます。

お知らせ

- イヤホンマイクで通話を終了する場合は 、またはイヤホンマイクのスイッチを押してください。
- イヤホンマイクの使いかたについては、イヤホンマイク（市販品）の取扱説明書をご参照ください。

● イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

機能番号10

「イヤホン自動応答」（268ページ）を「ON」に設定しているとき、自動的に電話を受け取るまでの時間（応答時間）を「00秒」～「30秒」に設定できます。

お買い上げ時：
「09秒」

待受画面で

▶ ▶ ▶ 応答時間を入力し、 【選択】

● 現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用した位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。

- ・ LI (Location Information / 位置情報通知) 機能：本機が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます (測位の誤差が発生する場合があります)。
- ・ 位置情報通知：「LI設定」を「ON」に設定すると、位置情報通知を設定することができます。本機に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の通知を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

● ご注意

- 管理者ロックの「位置情報機能の設定変更を許可」(245ページ)が「許可しない」に設定されているときは、位置情報機能の設定を変更することができません。

LI機能を設定する (LI設定)

機能番号91

「LI設定」を「ON」に設定すると、「位置情報通知」を設定することができ、位置情報サービスを利用することができます (ウィルコムへの加入、およびウィルコム位置検索サービスまたは位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要)。位置情報サービスを利用すると、遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。

位置情報通知では、以下の4つの設定や操作を行うことができます。

- ・ 位置情報通知
- ・ 位置情報通知時の通知確認音の設定
- ・ 位置情報を通知する電話番号 (通知許可番号) の登録／修正／消去
- ・ 位置情報通知機能のリセット

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で **9** **1** **暗証番号を入力**

以下の項目から選択します。

1 位置情報通知機能 お買い上げ時： 「OFF」	1 「ON」 または 2 「OFF」 位置情報通知機能をONにするかどうかを設定します。	
2 詳細設定	1 着信音設定 お買い上げ時： 「ON」	1 「ON」 または 2 「OFF」 位置情報通知で位置情報を送ったときに、通知確認音を鳴らすかどうかを設定します。
	2 通知許可番号	位置情報通知が要求されたときに、位置情報を送る電話番号を登録します (270ページ)。
	3 リセット	位置情報通知機能をリセットします (270ページ)。

位置情報通知
設定画面



その他の便利な機能

● お知らせ

- 「1」 「位置情報通知機能」で位置情報を送る相手の電話番号は、「2」 「通知許可番号」で設定します (「通知許可番号」と通知許可パスワードを登録する) (270ページ)。
- 「1」 「位置情報通知機能」を設定すると、メインディスプレイに「LI」が表示されます。「LI設定」が「2」 「OFF」に設定されているときは、「LI」は表示されません。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを登録する

位置情報を通知する電話番号を、「通知許可番号」として登録します。初期設定値の他に、電話番号は5件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：
「初期設定値」
通知許可パスワード：
未登録

位置情報通知設定画面で

- 1 [2] 「詳細設定」 ▶ [2] 「通知許可番号」
- 2 登録する番号を選択 ▶ [メニュー] ▶ [1] 「登録」
- 3 通知許可番号を入力し、 ▶ 通知許可パスワードを入力し、 [登録]

● ご注意

- 通知許可番号を登録後、以下の手順でチェックを付加することで選択した番号へ位置情報を通知します。
位置情報通知設定画面で [2] 「詳細設定」 ▶ [2] 「通知許可番号」 ▶ 通知許可番号を選択し、 [選択]

● お知らせ

- 入力できる通知許可番号は20桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを表示／編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを表示／編集／削除します。

位置情報通知設定画面で [2] 「詳細設定」 ▶ [2] 「通知許可番号」 ▶ 表示または編集、削除する番号を選択 ▶ [メニュー]

以下の項目から選択します。

[1] 表示	通知許可番号と通知許可パスワードを表示します。
[2] 編集	▶ 通知許可番号を編集し、 <input type="checkbox"/> ▶ 通知許可パスワードを編集し、 <input type="checkbox"/> [登録] 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
[3] 削除	▶ [1] 「1件」または [2] 「全件」 通知許可番号と通知許可パスワードを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。

● ご注意

- 本機に通知許可番号としてあらかじめ登録されている「初期設定値」の内容は、表示／編集／削除をすることはできません。

■ 位置情報通知機能をリセットする

位置情報通知機能をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

位置情報通知設定画面で [2] 「詳細設定」 ▶ [3] 「リセット」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ [1] 「はい」

相手から位置情報通知の要求があったとき

「位置情報通知機能」を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している「通知許可番号」から位置情報通知の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。



- 本機を操作中に位置情報通知の要求があったとき、操作が中断または中止されます。

所在位置を登録する

「位置情報通知機能」を「ON」に設定すると、本機の所在位置を登録できます。位置情報通知の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

■ 所在位置のみ登録する

待受画面で

1 **0**を長く(1秒以上)押す

位置情報送信画面が表示されます。

2 を押す

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■ 所在位置とステータスコードを登録する

待受画面で

***** ▶ **ステータスコードを入力する** ▶ ***** ▶ 



- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。



- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細についてはウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

● 緊急速報を利用する（緊急速報）

機能番号94

気象庁が配信する「緊急地震速報」や「津波情報」を本機で受信し、表示できます。本機で緊急速報を受信すると、緊急地震速報／津波情報個別の警告音およびバイブレータでお知らせします。

受信した緊急速報を読む

緊急速報を受信すると、警告音鳴動やバイブレータ振動、ランプ点灯とともに、画面上の表示で通知します。

1 本機で受信した緊急速報を確認する

● ご注意

● 通話中、通信中および電波状態が悪いときは受信できません。

● お知らせ

● 警告音鳴動／バイブレータ振動／ランプ点灯は作動してから20秒で終了しますが、以下の操作でも終了させることができます。また、緊急速報も以下の操作で終了させることができます。

- ・ を押す
- ・ を押す
- ・ を押す

● 緊急速報を受信したときの音量やマナーモード時に警報音を鳴らすかどうかの設定、警報音の確認ができます（201ページ）。ただし、設定に関わらず緊急速報受信時にはバイブレーションが振動し、ランプが点灯します。

緊急速報機能を設定する（緊急速報受信）

機能番号941

緊急速報を受信するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「受信する」

待受画面で ▶ **9** ▶ **4** ▶ **1** ▶ **1** 「受信する」または **2** 「受信しない」

過去に受信した緊急速報を確認する（緊急速報受信履歴） 機能番号942

過去に受信した緊急速報を確認することができます。

待受画面で ▶ **9** ▶ **4** ▶ **2**

過去に受信した緊急速報受信履歴が表示されます。

● お知らせ

● 緊急速報受信履歴の最大件数は30件です。

緊急速報 受信履歴画面

緊急速報受信履歴	4件
01 緊急地震速報(局)	10:00の地震速報
	2013/10/10(木)
	16:51
02 津波警報発表	
	2013/10/10(木)
	16:50
03 緊急地震速報	
	2013/10/10(木)
	16:49

● 各機能の情報を削除する

発信履歴や電話帳など、各機能の情報を削除するには、【メニュー】でメニューを表示させて、「削除」を選択します。機能によって、「削除」を選択した後、「1件」、「全件」などの削除方法を選択します。

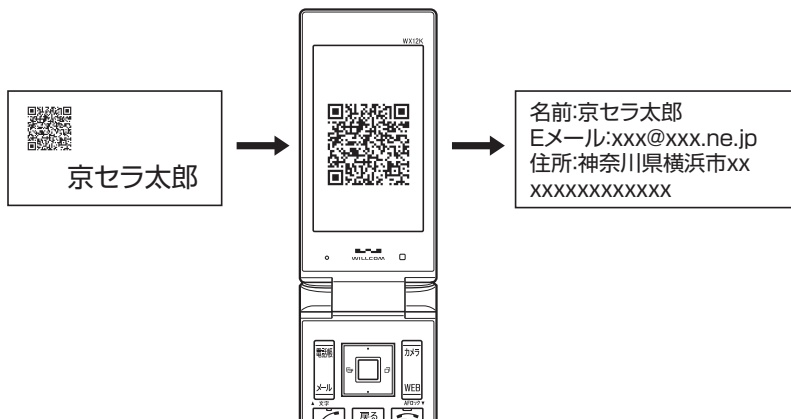
削除方法	内容
1件／1件削除	<p>▶ <input type="checkbox"/>「はい」を押す</p> <p>選択している、または表示している内容を削除します。 お気に入りメニューを削除する場合は、項目を選択し、<input type="checkbox"/>【削除】▶ <input type="checkbox"/>「はい」を押します。</p>
選択	<p>▶ 削除する内容を選択し、<input type="checkbox"/>【選択】または<input type="checkbox"/>【決定】を繰り返す▶ <input type="checkbox"/>【削除】または<input type="checkbox"/>【削除】▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>削除したい内容を複数選択し、削除します。選択を解除するには、選択済みのデータを再度選択し、<input type="checkbox"/>【解除】または<input type="checkbox"/>【決定】を押します。</p>
全件／全削除／フォルダ	<p>▶ 暗証番号を入力*▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>すべての内容を削除します。</p>
グループ	<p>電話帳の削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>選択したグループを削除します。</p>
チェック済み	<p>TODOの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>チェックが付いているTODOをすべて削除します。</p>
指定日以前	<p>スケジュールの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>【選択】▶ 指定日を入力し、<input type="checkbox"/>【決定】▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>指定日以前のスケジュールをすべて削除します。</p>
タブ内全件	<p>データフォルダの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>タブ内のデータをすべて削除します。</p>

*：発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を全件削除する場合、入力する必要はありません。

● QRコードリーダーを使う

QRコードについて

QRコード (Quick Response Code) とは、豊富な情報量を持った2次元コードです。本機のカメラでQRコードを読み取ったり、データフォルダに保存したQRコードの画面を解析することができます。読み取ったEメールアドレスやURL、住所などの文字情報を使って、電話帳登録やメール作成などが行えます。



● ご注意

● QRコードが汚れている、かすれている、印刷が薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。

QRコードを読み取る

カメラでQRコードを読み取ります。

■ カメラから起動する場合

待受画面で

1 かわり ▶ 3 「QRコード撮影」

■ アクセサリから起動する

待受画面で

1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 5 「QRコードリーダー」 ▶ 1 「撮影する」

2 QRコードを画面の赤色の枠に合わせる (▶ 「読み込」を押して、QRコードを画面の赤色の枠に合わせる操作を繰り返す) *

* : 連結コードを読み取るときに操作します。

読み取りできなかった場合は、 「再読み込」を押してください。



- 読み取り中に、 「AF」を押すとフォーカスを調整できます。
- 暗い場所で読み取る場合は、 「撮影ライト」を押して撮影ライトを点灯してください。
- カメラからは、以下の手順でも起動することができます。
待受画面で 「フォト撮影」 ▶ 「メニュー」 ▶ 「QRコードモード」
- 以下のコードも読み取ることができます。



JANコード



連結コード

- 連結コードを読み取り中に着信などによって中断した場合も、それまでに読み取ったQRコードは一時的に保存されます。再度、QRコードリーダーを起動すると確認画面が表示されます。 「はい」を押すと、読み取りを再開することができます。

■ QRコードリーダーのメニューを使う

データフォルダに保存したQRコードの読み取り、保存した解析結果の表示、QRコードリーダーのバージョン情報の確認ができます。

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 5 「QRコードリーダー」

以下の項目から選択します。

1 <input type="checkbox"/> 「撮影する」	QRコードを読み取ります (「QRコードを読み取る」275ページ)。
2 <input type="checkbox"/> 「画像解析」	▶ QRコードの画像データを選択し、 <input type="checkbox"/> 「選択」 データフォルダに保存されている、QRコードが含まれる画像を解析することができます。
3 <input type="checkbox"/> 「保存データを表示」	▶ QRコードデータを選択し、 <input type="checkbox"/> 「選択」 データフォルダに保存していた解析結果を表示します。
4 <input type="checkbox"/> 「バージョン情報」	QRコードリーダーのバージョンを表示します。

■ QRコード解析画面のメニューを使う

解析結果画面で **カメラ** **メニュー**

以下の項目が表示されます。表示できる項目は、選択している項目により異なります。

1 保存	解析結果を保存します。保存した解析結果のファイル名は、QR_YYYYMMDDhhmm.QRCとなります (Y:年、M:月、D:日、h:時、m:分)。ただし、解析結果がvCard/vCalendarの場合、拡張子はそれぞれ「.vcf」/「.vcs」となります。
2 コピー	▶ コピー範囲の始点を選択し 、 □ 【始点】 ▶ 終点を選択し 、 □ 【終点】 解析結果のテキスト内容をコピーします (全角、半角共に1024文字まで)。
3 ショートカット*1	QRコードをお気に入りメニューへ登録します (「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
4 赤外線送信*2	解析結果を赤外線で送信します (「赤外線で送信する」286ページ)。

*1: 本体メモリに保存されているQRコードデータの場合のみ表示されます。

*2: データフォルダ(本体メモリ/microSDカード)に保存されているQRコードデータの場合のみ表示されます。

■ QRコード解析結果の情報を利用する

解析結果画面で **電話番号/Eメールアドレス/URLを選択し**、**□** **【選択】**

以下の項目が表示されます。表示できる項目は、選択している項目により異なります。

3 発信*1	▶ □ 【発信】を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
4 電話帳へ登録	1 新規 選択した電話番号やEメールアドレス、URLなどを電話帳に新規登録します (「電話帳データの各項目を登録する」76ページ)。
	2 追加 ▶ 追加登録する電話帳を選択し 、 □ 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1~3」または「Eメールアドレス1~3」またはURLを選択し 、 □ 【選択】 ▶ □ 【登録】 または 299 【登録】 ▶ 1 【はい】 すでに登録されている電話帳データに、電話番号やEメールアドレス、URLなどを追加登録します。
5 ライトメール作成*1	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します (「ライトメールを作成して送信する」103ページ)。
6 Eメール作成*2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します (「Eメール (テキストメール/デコラティブメール) を作成して送信する」94ページ)。
7 URLページへ接続*3	▶ 1 【はい】を押す 選択したURLのWebページをブラウザで表示します。
8 ブックマークへ登録*3	▶ タイトルを入力し 、 □ 【登録】 選択したURLをブックマークに登録します。

*1: 電話番号を選択した場合のみ表示されます。

*2: Eメールアドレスを選択した場合のみ表示されます。

*3: URLを選択した場合のみ表示されます。

お知らせ

● 特定のフォーマットで作成されたQRコードの場合、解析結果の情報を利用して以下の操作が行えます。

■ 電話帳データを登録する

解析結果画面で「電話帳一括登録」を選択し、**□** **【選択】**

■ Eメールを作成する

解析結果画面で「Eメール作成」を選択し、**□** **【選択】**

■ ブックマークに登録する

解析結果画面で「ブックマーク登録」を選択し、**□** **【選択】** ▶ **□** **【登録】**

※QRコードによっては、上記の操作を行ったときに特定の情報が反映されない場合があります。

● Java™アプリについて

Java™アプリとは、PHSや携帯電話でゲームなどがご利用いただけるアプリケーションソフトです。Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールし、本機でお楽しみいただけます。

● ご注意

- 管理者ロックの「Java™アプリの使用を許可」(244ページ)が「許可しない」に設定されているときは、Java™アプリの使用、インストールができません。

Java™アプリをインストールする

Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールできます。インストールしたアプリケーションは、「アプリ一覧」に保存されます。アプリケーションには2種類のデータ(「.jad」「.jar」)があります。

■ 公式サイトからインストールする場合

待受画面で **WEB** ▶ **I** 「公式サイト」▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする
または

待受画面で **アプリ** ▶ 「公式サイトから探す」▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする

■ データフォルダに保存されている「.jad」「.jar」を使用してインストールする場合

待受画面で **□** ▶ 「データフォルダ」を選択し、**□** 「選択」▶ フォルダ/「microSD」を選択し、**□** 「選択」(**○** 暗証番号を入力^{*1}/ **I** 「microSDデータ」^{*2}) ▶ **◀▶** で「その他タブ」を選択し、**□** 「ファイルへ」または **◀▶** 拡張子が「.jad」のファイルを選択し、**□** 「登録」▶ **I** 「はい」

*1: 「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2: microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

● ご注意

- インストールは、電波状況の良い場所で行ってください。電波状況が悪い場所や移動中は、正しくインストールされない場合があります。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください(「データを削除する」188ページ)。

● お知らせ

- お客様がインストールされたアプリケーションの動作については、各アプリケーション提供会社へお問い合わせください。

Java™アプリを起動する

アプリ一覧画面にはあらかじめプリインストールされているアプリケーションや、お客様がインストールしたアプリケーションが登録されています。アプリケーションの起動は、ここから行います。

待受画面で **アプリ** ▶ 起動したいアプリケーションを選択し、**□** 「決定」▶ 各アプリケーションの画面の指示に従って操作する

● ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、アプリケーションを起動できない場合があります。不要なデータを削除して空き容量を確保してください(「データを削除する」188ページ)。
- Java™アプリを起動した状態で本体を閉じて、Java™アプリは終了しません。
- 操作ロック(229ページ)の「Java™アプリ」が「禁止」に設定されていると、暗証番号の入力が必要です。

■ Java™アプリ一覧画面のメニューを使う

待受画面で アプリ > アプリケーションまたはフォルダを選択し、 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、登録されている内容により異なります。

アプリ情報* ¹	選択しているアプリケーションの詳細情報を表示します。	
更新* ¹	▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択しているアプリケーションのソフトが更新されている場合はバージョンアップを行います。	
削除	選択したアプリケーションまたはフォルダを削除します。	
	<input type="checkbox"/> フォルダ削除* ²	▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	<input type="checkbox"/> 削除	▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	<input type="checkbox"/> 選択削除	▶ 削除するアプリケーションを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】を繰り返す ▶ 【実行】 ▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
<input type="checkbox"/> 全削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】	
移動* ¹	▶ 移動先のフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択したアプリケーションを別のフォルダに移動します。	
並べ替え	▶ 並べ替えの方法を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 名前、サイズ、起動回数の昇順/降順、または起動日時、作成日時の新しい順/古い順を選択すると、選択した順に表示します。	
フォルダ作成	▶ フォルダ名を入力し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 フォルダを作成すると、アプリケーションをフォルダごとに管理できます。	
フォルダ名編集* ²	▶ フォルダ名を編集し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 「フォルダ作成」で作成したフォルダ名を編集します。	
Java™アプリの設定* ¹	<input type="checkbox"/> 許可設定	▶ 以下の項目を設定し、 【完了】 各種許可設定を行います。
	<input type="checkbox"/> ネットワーク接続	▶ 「一度だけ確認」、「起動ごとに確認」、「使用ごとに確認」、または「許可しない」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	<input type="checkbox"/> ローカルポート使用	
	<input type="checkbox"/> 自動起動	
	<input type="checkbox"/> ユーザーデータ読み込み	
	<input type="checkbox"/> ユーザーデータ書き込み	
	<input type="checkbox"/> 同期	
<input type="checkbox"/> ショートカット登録	選択したアプリケーションを、お気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。	
システム情報	Java™アプリ一覧の使用状況を表示します。	

*¹：アプリケーションを選択した場合のみ選択できます。

*²：フォルダを選択した場合のみ選択できます。



● プリインストールされているアプリケーションも削除できます。

Java™アプリの設定をする

待受画面で ▶ **「Java™」を選択し、** **「選択」**

以下の項目から選択します。

1 アプリ一覧	アプリ一覧画面が表示されます（「Java™アプリを起動する」277ページ）。	
2 公式サイトから探す*	▶ 1 「はい」 を押す 公式サイトに接続して、Java™アプリをダウンロードすることができます。	
3 接続先設定 お買い上げ時： 「WILLCOM」	▶ 1 ~ 3 （接続先を選択） アプリケーションの通信先を設定します。	
4 自動起動設定 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 アラーム登録のできるアプリケーションの自動起動を行うかどうかの設定をします。	
5 サウンド お買い上げ時： 「端末の設定に従う」	1 常に再生する	アプリケーションのサウンドを常時再生します。マナーモード設定中（61ページ）でも音が鳴ります。
	2 端末の設定に従う	アプリケーションのサウンドを、本機の音関連の設定に従って再生します。

*：ブラウザの表示モードは、「ケータイモード」で表示されます。

● データのバックアップをする

バックアップ機能を利用して、電話帳やスケジュール、TODOリスト、ブックマークをバックアップすることができます。バックアップしたデータは、再度呼び出して登録できます。

また、バックアップデータには、シークレット登録したデータも含まれます。

- ・電話帳 (76ページ)
- ・スケジュール (217ページ)
- ・ブックマーク (130ページ)
- ・TODOリスト (222ページ)

🔔 ご注意

- 以下の管理者ロックが設定されているときは、バックアップを利用することはできません。

管理者ロック	設定値	制限される機能	参照先
電話帳の編集を許可	許可しない	電話帳バックアップデータのインポート不可	242ページ
ブックマークからのWEB接続に限定	限定する	ブックマークのバックアップデータのインポート不可	243ページ
電話帳の閲覧を許可	許可しない	電話帳バックアップデータのエクスポート/インポート不可	246ページ
microSDの使用を許可	許可しない	microSDカードへの各バックアップデータのエクスポート/インポート不可	247ページ
バックアップの使用を許可	許可しない	各バックアップデータのエクスポート/インポート不可	248ページ

データをバックアップする

それぞれの機能に登録されているデータを、データフォルダにエクスポート（ファイルとして保存）してバックアップしておくことができます。

🔔 ご注意

- エクスポート中はmicroSDカードを抜かないください。
- バックアップしたファイルは再生できません。
- データフォルダ（本体メモリ/microSDカード）の空き容量が不足している場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除し、空き容量を確保してください（「データを削除する」188ページ）。

📢 お知らせ

- エクスポートしたデータはデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ/microSDカード）の「その他タブ」に保存されます。ファイル名は以下のとおりです。

データの種別	ファイル名
電話帳	AD012K.KBF
スケジュール	SD012K.KBF
TODOリスト	TD012K.KBF
ブックマーク	BM012K.KBF

- エクスポートしたデータのファイル名は、変更することができます。ただし、ファイル名を変更した場合は、バックアップデータをインポートすることはできません。
- データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ/microSDカード）に同名のバックアップデータが保存されている場合は、上書き確認画面が表示されます。上書きして登録するには、「はい」を押します。
- バックアップデータは、データフォルダから削除することができます（「データを削除する」188ページ）。
- エクスポート中に、を押したり、着信などによって中断された場合は、再度エクスポートし直してください。

■ データフォルダにエクスポートする

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 6 「バックアップ」 (▶ 1 「データフォルダ」) * ▶ 1 「本体⇒データフォルダ」 ▶ 1 「電話帳」、 2 「スケジュール」、 3 「TODOリスト」、または 4 「ブックマーク」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

■ microSDカードにエクスポートする

操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 6 「バックアップ」 ▶ 2 「microSD」 ▶ 1 「本体⇒microSD」 ▶ 1 「電話帳」、 2 「スケジュール」、 3 「TODOリスト」、または 4 「ブックマーク」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」

バックアップデータをインポートする

データフォルダに保存されているバックアップデータを、それぞれの機能に保存し直します。

ご注意

- インポートすると、本機に登録されているデータは削除され、選択したバックアップデータが新しく登録されます。インポートする際は十分ご注意ください。
- インポート中はmicroSDカードを抜かないでください。

お知らせ

- インポート中に、 を押ししたり、着信などによって中断された場合は、再度インポートし直してください。
- 本機 (WX12K) 以外のバックアップデータも、本機にインポートすることができます。インポートできるバックアップデータの種類は以下のとおりです。事前に、本機の本体メモリ、またはmicroSDカードの「PRIVATE」フォルダ⇒「KYOCERA」フォルダ⇒「DATA」フォルダにバックアップファイルを保存しておいてください。

機種名	ファイルの種類
WX310K	AD310K.vcf、SD310K.vcs、TD310K.vcs、BM310K.vbm ※上記のバックアップデータは、miniSD™メモリカード (市販品) の「PRIVATE」フォルダ⇒「BACKUP」フォルダに保存されています。インポートする場合は、本機の本体メモリ、またはmicroSDカードの「PRIVATE」フォルダ⇒「KYOCERA」フォルダ⇒「DATA」フォルダに保存してください。
WX320K	AD320K.KBF、SD320K.KBF、TD320K.KBF、BM320K.KBF
WX320KR	
WX330K	AD330K.KBF、SD330K.KBF、TD330K.KBF、BM330K.KBF
WX331K	AD331K.KBF、SD331K.KBF、TD331K.KBF、BM331K.KBF
WX331KC	
WX340K	AD340K.KBF、SD340K.KBF、TD340K.KBF、BM340K.KBF
WX341K	AD341K.KBF、SD341K.KBF、TD341K.KBF、BM341K.KBF
WX333K	AD333K.KBF、SD333K.KBF、TD333K.KBF、BM333K.KBF
WX334K	AD334K.KBF、SD334K.KBF、TD334K.KBF、BM334K.KBF
WX350K	AD350K.KBF、SD350K.KBF、TD350K.KBF、BM350K.KBF
WX01K	AD001K.KBF、SD001K.KBF、TD001K.KBF、BM001K.KBF
WX02K	AD002K.KBF、SD002K.KBF、TD002K.KBF、BM002K.KBF
WX03K	AD003K.KBF、SD003K.KBF、TD003K.KBF、BM003K.KBF
WX05K	AD005K.KBF、SD005K.KBF、TD005K.KBF、BM005K.KBF
WX07K	AD007K.KBF、SD007K.KBF、TD007K.KBF、BM007K.KBF
WX09K	AD009K.KBF、SD009K.KBF、TD009K.KBF、BM009K.KBF
WX11K	AD011K.KBF、SD011K.KBF、TD011K.KBF、BM011K.KBF

■ データフォルダからインポートする

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 [選択] ▶ 6 「バックアップ」(▶ 1 「データフォルダ」)* ▶ 2 「データフォルダ⇒本体」▶ 1 「電話帳」、 2 「スケジュール」、 3 「TODOリスト」、または 4 「ブックマーク」▶ 暗証番号を入力▶ データを選択し、 [選択] ▶ 1 「はい」

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

■ microSDカードからインポートする

操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 [選択] ▶ 6 「バックアップ」▶ 2 「microSD」▶ 2 「microSD⇒本体」▶ 1 「電話帳」、 2 「スケジュール」、 3 「TODOリスト」、または 4 「ブックマーク」▶ 暗証番号を入力▶ データを選択し、 [選択] ▶ 1 「はい」

パソコンツールを使ってバックアップする

本機とPCをUSBケーブル（別売）で接続して市販のパソコンツールを利用すると、パソコンにデータをバックアップすることができます。

待受画面で

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 本機を待受画面にし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する
- 3 本機で 2 「データ転送」を押す
- 4 パソコンの操作を行う

ご注意

- すでに本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、モデムやマスタストレージとして利用している場合、または手順3で機能を選択しなかった場合にデータ転送をするときは、以下の操作を行います。
(▶ パソコンからUSB切断の操作をする)*▶ USBケーブルを本機から抜く▶ 手順2~3の操作をする
* : マスタストレージ接続中の場合に操作します。

● 災害時に自分の声を送る（災害用音声お届けサービス）

災害が起こったときなど電話が通じないときに音声を届けることができます。音声メッセージをサーバーにアップロードし、その旨を相手に通知します。通知を受けた相手は音声メッセージをダウンロードして聞くことができます。

待受画面で

- 1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、 【選択】 ▶ 8 「災害用音声お届け」
- 2 音声を送りたい相手の電話番号を入力 ▶ 「問い合わせ」を選択し、 【選択】
- 3 「録音開始」を選択し、 【選択】 ▶ 録音を開始 ▶ 【終了】または約30秒経過後録音終了
- 4 「送信」を選択し、 【選択】

音声メッセージの送信が完了すると、サーバーから音声メッセージダウンロード用のURLが相手先に送信されます。

📢 ご注意

- 以下の場合はEメール自動受信があると、各動作が中断されEメールを受信します。
 - ・ 録音中
 - ・ 問い合わせ中
 - ・ 送信中
 - ・ ダウンロードした音声メッセージ再生中

📢 お知らせ

- 本機ではライトメールで通知を受けます。
- 電話番号として以下の文字を入力できます。
0~9#*P+
- 音声ファイルを本機で再生したときの音量と、受話音量（66ページ）は同じ音量になります。また、どちらかの音量を変更するともう一方の音量も同じ大きさになります。
- 電話番号入力中に²⁹⁹【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。

1 コピー／カット	文字をコピー／カットします（「文字をコピー／カット／貼り付けする」72ページ）。
2 貼り付け	コピー／カットした文字を貼り付けます（「文字をコピー／カット／貼り付けする」72ページ）。
3 電話帳引用	▶ 電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 電話帳に登録されている内容を引用して、電話番号を入力します。

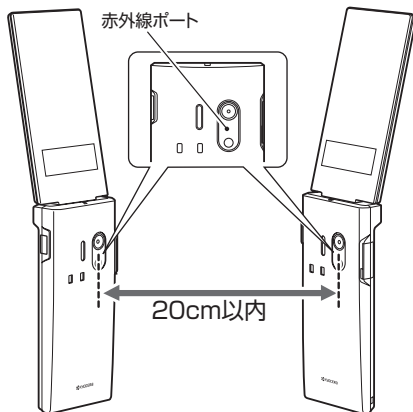
赤外線通信の使いかた

● 赤外線通信について

赤外線通信の機能を持つ機器と本機で、赤外線を使用してデータの送受信を行うことができます。

赤外線を送信または受信で1回につき扱うことができるデータは以下のとおりです。

データ	件数	データ	件数
プロフィール	1件	ブックマーク	1件/全件
電話帳	1件/全件 (プロフィール含む)	メモ帳	1件/全件
スケジュール	1件/全件	データフォルダ	1件
TODOリスト	1件/全件	microSDカード	1件



赤外線通信の通信距離は20cm以内です。また、データの送受信が終わるまで、本機の赤外線ポートを相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

● ご注意

- 赤外線通信中は、以下の機能の指定時刻が経過しても、起動しません。赤外線通信完了後に起動します。また、赤外線通信中はUSB通信は行えません。
 - ・アラーム
 - ・スケジュールアラーム
 - ・TODOアラーム
 - ・Java™自動起動
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。このような場合は、柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- 管理者ロックの「赤外線通信の使用を許可」(244ページ)が「許可しない」に設定されているときは、赤外線通信を利用することができません。

● お知らせ

- 赤外線通信を行うには、送信側と受信側でそれぞれ赤外線通信の準備をする必要があります(受信側が赤外線受信待ち状態になっていることを確認してから、送信操作を行ってください)。
- 本機の赤外線通信では、Infrared Data AssociationのIrMC™バージョン1.1に準拠している機器と通信が可能です。ただし、相手の機器がIrMC™バージョン1.1に準拠していても、機器やデータによっては正しく送受信できないことがあります。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正しく送受信できない場合があります。
- 送受信できるデータ容量は最大4Mバイトです(一部の携帯電話への送信は最大1Mバイト)。
- データの容量によって通信や登録、保存に時間がかかる場合があります。

赤外線で受信する

本機を赤外線受信の待機状態にして、通信相手からのデータ送信を待ちます。受信時に認証パスワードの入力が必要な場合があります。認証パスワードとは、受信を行う前にあらかじめ通信相手と決める任意の4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。受信するデータが4Mバイトを超える場合は、エラーメッセージが表示されて受信操作が中止されます。

待受画面で

1 「赤外線」を選択し、 [選択] ▶ 「赤外線受信」

赤外線受信待ち状態になります。

2 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる

■ 1件受信の場合

3 受信完了 ▶ 「はい」

■ 全件受信の場合

3 認証パスワードを入力* ▶ 受信完了

*：約30秒以内に認証パスワードを入力しないと、受信を中止します。

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 追加登録	受信したデータを本機内のデータに追加登録します。
<input type="checkbox"/> 2 上書き登録	▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 ▶ 暗証番号を入力 本機に登録済みのデータを削除して、受信したデータを上書き登録します。全件受信した電話帳データを上書き登録する場合、同時にプロフィールも上書きされます。
<input type="checkbox"/> 3 登録しない	受信したデータを破棄して、赤外線メニュー画面に戻ります。

赤外線受信画面



ご注意

- 赤外線通信の全件受信でデータを登録しているときは、音声着信、Bluetooth着信、メールの受信ができません。

お知らせ

- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータの受信を開始しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 受信した電話帳データ、スケジュール、TODOのデータがシークレット登録されている場合、本機でもシークレット登録されます。
- 受信したデータの登録件数が本機の登録可能件数の上限を超えた場合、 「追加登録」または 「上書き登録」を選択すると、何件登録できたかの確認画面が表示されます。上限を超えた分の受信したデータは破棄されます。

■ データファイルを受信する

データファイルを1件受信します。

赤外線受信画面で 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 受信完了

以下の項目から選択します。

1 本体メモリに保存	受信したデータをデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）に保存します。
2 microSDに保存*	受信したデータをmicroSDカードに保存します。
3 保存しない	受信したデータを破棄して、赤外線通信メニュー画面に戻ります。

*：microSDカード挿入時のみ表示されます。

お知らせ

- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータの受信を開始しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先に同じファイル名がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は、 「はい」を押します。

赤外線で送信する

赤外線受信の待機をしている通信相手に、本機から赤外線でデータを送信します。

全件送信を選択した場合は、認証パスワードの設定が必要です。認証パスワードとは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と決める任意の4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。送信するデータが4Mバイトを超える場合はエラーメッセージが表示され、送信操作が中止されます。

待受画面で

1 ▶ 「赤外線」を選択し、 「選択」 ▶ 2 「赤外線送信」

2 1 「プロフィール」、 2 「電話帳」、 3 「スケジュール」、 4 「TODOリスト」、
 5 「ブックマーク」、または 6 「メモ帳」

■ 1 「プロフィール」を送信する場合

3 「選択」を押す

■ 1 「プロフィール」以外の1件送信の場合

3 1 「1件送信」 ▶ データを選択し、 「選択」

■ 全件送信の場合

3 2 「全件送信」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」 ▶ 認証パスワードを入力

4 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了

ご注意

- 著作権のあるデータは送信できません。

赤外線送信 データ選択画面



お知らせ

- 送信中に送信を中止するには、**[戻る]**、**[電話]** **[中止]**、または **[戻る]** を押します。
- 送信開始後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 1件送信時にプロフィール、電話帳データに画像データが登録されている場合は、画像データを送信するかどうかの確認画面が表示されます。画像データを送信する場合は、**[はい]** を押します。ただし、スケジュールは画像データを送信できません。
- 電話帳全件送信の場合は、1件目にプロフィールデータを付けて送信します。
- 電話帳、スケジュール、TODOリスト全件送信時、本機のシークレットモード (231ページ) を「OFF」に設定中は、シークレット登録されたデータは送信できません。また「全件送信」の場合、シークレットモードを「ON」に設定中は、シークレット登録されたデータも送信します。ただし、画像は送信できません。
- 操作ロック (229ページ) の「電話帳閲覧」を「禁止」に設定しているときは、電話帳データ1件送信時の場合でも、手順3で **[はい]** 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。
- 操作ロック (229ページ) の「スケジュール」を「禁止」に設定しているときは、スケジュールデータまたはTODOデータ1件送信時の場合でも、手順3で **[はい]** 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。
- 操作ロック (229ページ) の「WEB」を「禁止」に設定しているときは、ブックマーク1件送信時の場合でも、手順3で **[はい]** 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。

■ データフォルダのデータを送信する

データフォルダのデータを1件送信します。

赤外線送信データ選択画面で **[7]** 「データフォルダ」または **[8]** 「microSD」* ▶

データを選択し、**[選択]** ▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

ご注意

- 著作権のあるデータは送信できません。
- 拡張子が「.mp4」、「.swf」、「.flv」、または「.mp3」のデータは送信できません。

お知らせ

- 送信中に送信を中断するには、**[戻る]**、**[電話]** **[中止]**、または **[戻る]** を押します。
- 送信開始後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。

Bluetooth®の使いかた

Bluetooth®について

Bluetooth機能は、機器同士を無線で接続して操作するための技術です。本機では、Bluetooth機能を利用して以下のことができます。

- **ヘッドセット／ハンズフリー通話（300ページ）**
本機の回線を利用して、接続したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話ができます。
- **Bluetooth通話（300ページ）**
接続した電話機（スマートフォンなど）の回線を利用して、本機で電話をかけたり、かかってきた電話を受けたりすることができます。
- **電話帳データ送受信（303ページ）**
本機と電話機（スマートフォンなど）で電話帳データの送受信ができます。
- **お知らせシェア（293、296ページ）**
スマートフォンでメール受信通知があったときに、本機にも通知があったことをお知らせします。
- **だれとでも定額パス（302ページ）**
本機の回線を利用して、接続したスマートフォンで電話をかけたり、かかってきた電話を受けたりすることができます。
- **テザリング（294、297ページ）**
本機の回線を利用してデータ通信を行うことができます。

Bluetooth機器同士を接続する場合、機器同士で決められたルール（プロファイル）が対応している必要があります。本機では以下のプロファイルに対応しています。

HSP	ヘッドセットとして接続するためのプロファイルです。
HFP	ハンズフリー機器として接続するためのプロファイルです。
PBAP	電話帳データを送受信するためのプロファイルです。
SPP*	お知らせシェアを利用するためのプロファイルです。
PVP	だれとでも定額パスを利用するためのプロファイルです。
PAN	テザリングするためのプロファイルです。

*：本機では、SPPはお知らせシェア以外の用途には使えません。

お知らせ

- 通信方式はBluetooth 2.1+EDR準拠です。
- Bluetooth機能をON|しているときは、メインディスプレイにアイコンが表示されます（33ページ）。
- リモートロックコマンドを受信すると、Bluetooth機能がOFFになります。

Bluetooth®のメニューについて

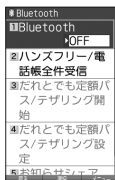
Bluetoothの各種操作や設定を行います。

Bluetooth接続モード選択画面が表示された場合は、「Bluetooth®接続モード選択画面から接続する」(292ページ)をご参照ください。

■ 基本メニューから操作する場合

待受画面で **Bluetooth** を選択し、**Bluetooth** (**5** 「Bluetoothメニュー」) *

Bluetooth
メニュー画面



■ Bluetoothキーから操作する場合

待受画面で **Bluetooth** (**5** 「Bluetoothメニュー」) *

* : Bluetooth接続モード選択画面 (292ページ) が表示された場合に操作します。
Bluetoothメニュー画面が表示されます。

以下の項目から選択します。

1 Bluetooth お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 Bluetooth機能のON/OFFを設定します。Bluetooth機能を利用するときは、あらかじめONにしてください。	
2 ハンズフリー/ 電話帳全件受信 お買い上げ時： 子機モード メニュー	1 接続モード設定	1 親機モード*1 親機モードに切り替えます。 2 子機モード*1 子機モードに切り替えます。
	2 登録機器一覧 (親機)/ 登録機器一覧 (子機)	「ハンズフリー/電話帳全件受信」で利用する機器の登録および登録した機器の一覧を表示します (「親機モード/子機モードで接続する」295ページ)。
	3 着信音鳴動*2 お買い上げ時： 「本機」	1 本機 本機で設定した着信音が鳴ります。 2 接続先 接続した機器で設定した着信音为本機で鳴ります。ただし、接続した機器によっては接続先の着信音が鳴らない場合があります。
	4 電話帳全件受信	電話機 (スマートフォンなど) と接続して、電話帳データを受信して本機に登録したり、相手に送信したりすることができます (「電話帳データをBluetooth®で送受信する」303ページ)。
3 だれとでも定額 バス/テザリン グ開始*3	▶ 用途に合わせて (M-B) 「だれとでも定額バス」と (WEB) 「テザリング」 を押してONにする だれとでも定額バス/テザリングを起動します。本機に登録されているスマートフォンと接続するには、スマートフォンで接続の操作をしてください。	
4 だれとでも定額 バス/テザリン グ設定	1 だれとでも定額バ ス/テザリング機 器一覧 2 テザリング中のハ ンズフリー接続 お買い上げ時： 「ON」	だれとでも定額バス/テザリングで利用する機器の登録および登録した機器の一覧を表示します (「だれとでも定額バス/テザリングで接続する」297ページ)。ただし、だれとでも定額バス/テザリング起動中は機器の登録はできません。 ▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 テザリング中にハンズフリー機器を利用するかどうかを設定します。
	3 テザリング中のハ ンズフリー機器一 覧*4	だれとでも定額バス/テザリング利用中に、使用可能なヘッドセット/ハンズフリー機器の一覧を表示します。ヘッドセット/ハンズフリー機器は事前に親機モードで登録してください (「親機モード/子機モードで接続する」293、295ページ)。

[5] お知らせ シェア ^{*5}	[1] お知らせシェアを 開始	お知らせシェアで登録されている機器と接続して、お知らせシェアを開始します。
	[2] お知らせシェアを 停止	▶ [1] 「はい」を押す お知らせシェアでのスマートフォンとの接続を停止します。
	[3] 新しい機器を登録	新たに未登録のスマートフォンと接続します（「お知らせシェア [®] で接続する」296ページ）。先に登録された機器がある場合はその登録が解除されます。
	[4] 登録済み機器を 解除	▶ [1] 「はい」を押す 登録されたスマートフォンの登録を解除します。
	[5] 登録済み機器の 情報	登録されたスマートフォンの情報を表示します。
[6] 共通設定	[1] 省電力設定	省電力を設定すると、Bluetooth機器と接続しているときのバッテリー消費を抑えることができます（「省電力を設定する」291ページ）。
	[2] 切断通知 お買い上げ時： 「OFF」	▶ [1] 「ON」または[2] 「OFF」 Bluetooth機器との接続が意図せず切断されたときに、通知するかどうかを設定します。
	[3] 本機情報	本機の名称、種別、アドレス、対応サービス（プロフィール）、パスキー ^{*6} が表示されます。表示中に[299] 【名称変更】を押すと、本機の名称を変更できます（全角、半角共に17文字まで）。

*1：Bluetooth機能がONの状態でもモードを切り替えたときに機器が登録されていない場合は、[1] 「はい」を押すと機器検索状態/Bluetooth機器への登録可能状態になります。

*2：子機モードの場合のみ操作できます。

*3：「だれとでも定額パス/テザリング機器一覧」に機器が登録されている場合に操作できます。

*4：「登録機器一覧（親機）」に機器が登録されている場合に操作できます。

*5：本機に機器が登録されていない場合は、Bluetooth機器への登録可能状態になります。

*6：子機モードの場合のみ表示されます。



● お知らせシェア（293、296ページ）接続中に「ハンズフリー/電話帳全件受信」の親機モード/子機モードを切り替えても、お知らせシェアの接続は停止しません。

Bluetooth[®]メニュー画面で各種操作をする

Bluetoothメニュー画面で  で項目を選択し、  【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択した項目により異なります。

1 ヘルプ	説明文が表示されます。
2 ショートカット	Bluetoothメニュー画面の項目をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。

ご注意

- Bluetoothメニュー画面の項目をお気に入りメニューに登録した場合、Bluetooth機能がOFFのときはお気に入りメニューから操作できない項目があります。また、「ハンズフリー／電話帳全件受信」の親機モード／子機モードは操作時点でのモードになります。

省電力を設定する

Bluetoothメニュー画面で **6** 【共通設定】 ▶ **1** 【省電力設定】

以下の項目から選択します。

1 Bluetooth自動OFF時間 お買い上げ時：「3分」	▶ 1 ～ 6 （時間を選択）、または 7 【OFF】 Bluetooth機器と未接続の場合に待受画面で何も操作しなかったとき、Bluetooth機能を自動的にOFFにする時間を設定します。
2 だれとでも定額バス／テザリングOFF設定 お買い上げ時：「電池残量0本」	▶ 1 ～ 3 （電池の本数を選択）、または 4 【OFF】 Bluetooth機器と接続中にバッテリーが少なくなった場合に、だれとでも定額バス／テザリングを自動で終了するときのバッテリー本数を設定します。

Bluetooth® 機器と接続する

本機とBluetooth機器を接続します。Bluetooth機器と接続するには、あらかじめBluetooth機器側のBluetooth機能をONにしてください。

Bluetooth機器側の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご参照いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

お知らせ

● 機器によってはパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーの入力画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。本機のパスキーを入力する場合は、「0000」を入力してください。

Bluetooth® 接続モード選択画面から接続する（初回接続）

本機に機器が登録されていない場合は、Bluetooth接続モード選択画面から接続します。

■ 基本メニューから操作する場合

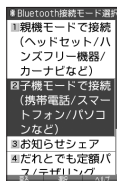
待受画面で  ▶ **[Bluetooth]** を選択し、 **[選択]**

■ Bluetoothキーから操作する場合

待受画面で  Bluetooth

Bluetooth接続モード選択画面が表示されます。

Bluetooth接続
モード選択画面



1 親機モードで接続	ヘッドセットやハンズフリー機器、カーナビなどと接続します（「親機モード/子機モードで接続する」293ページ）。
2 子機モードで接続	携帯電話やスマートフォン、パソコンなどと接続します（「親機モード/子機モードで接続する」293ページ）。
3 お知らせシェア	スマートフォンでメール受信通知があったときに、本機にも通知があったことをお知らせすることができます（「お知らせシェア®で接続する」293ページ）。
4 だれとでも定額バス/テザリング	本機のPHS回線を利用して、接続したスマートフォンで電話をかけたり、本機の回線を利用してデータ通信を行うことができます（「だれとでも定額バス/テザリングで接続する」294ページ）。
5 Bluetoothメニュー	Bluetoothの各種操作を行います（「Bluetooth®のメニューについて」289ページ）。
6 Bluetoothを利用しない	Bluetoothの操作を終了します。Bluetooth機能がONのときはBluetooth機能をOFFにします。

■ 親機モード／子機モードで接続する

■ 親機モードで接続する場合

1 Bluetooth機器を検索可能な状態にする ▶ Bluetooth接続モード選択画面で「1」 「親機モードで接続」

機器が見つからなかった場合は、Bluetooth機器の設定を確認して、手順1の操作を再度行ってください。

2 接続する機器を選択し、「2」 「接続」 ▶ 接続の操作をする

■ 子機モードで接続する場合

1 Bluetooth接続モード選択画面で「2」 「子機モードで接続」 ▶ 接続の操作をする

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順1の操作を再度行ってください。

接続が完了するとBluetooth機器の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- 接続したBluetooth機器は「登録機器一覧」(289ページ) に登録されます。
登録されたBluetooth機器と再度接続するには、登録機器の一覧画面で機器を選択し、「2」 「接続」 を押します。

■ お知らせシェア[®]で接続する

お知らせシェアを利用するためには、スマートフォンに「お知らせシェアアプリ」*をインストールする必要があります。

「お知らせシェアアプリ」の詳細については、下記のURL、またはQRコードからご覧いただけます。

<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/wx12k/>

*:「お知らせシェアアプリ」は無料ですが、ダウンロードの際に別途通信料がかかります。



※QRコード対応機器で読み取りをしてください。

1 スマートフォンで「お知らせシェアアプリ」を起動し、「OK」 ▶ 「登録開始」

2 Bluetooth接続モード選択画面で「3」 「お知らせシェア」

3 スマートフォンの「お知らせシェアアプリ」で「デバイスのスキャン」

4 接続の操作をする

ご注意

- メール新着情報が本機で表示されても、エモーションメッセージは表示されません。

お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- お知らせシェアで接続できる機器は1台です。

■ だれとでも定額パス/テザリングで接続する

1 Bluetooth接続モード選択画面で **[4]** 「だれとでも定額パス/テザリング」 ▶ 接続の操作をする

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順1の操作を再度行ってください。

2 **[]** 「待受開始」を押す

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面が表示されます。

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面



3 用途に合わせて **[メール]** 「だれとでも定額パス」と **[WEB]** 「テザリング」を押してONにする

スマートフォンで接続の操作をしてください。

注意

- テザリング中にヘッドセット/ハンズフリー通話 (300ページ)、またはだれとでも定額パスでの通話 (302ページ) をすると、通話している間はテザリングでの通信ができません。
- 閉めるとロック (226ページ) を設定していても、だれとでも定額パス/テザリング利用中は閉めるとロック機能が無効になります。
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ 発信先限定
 - ・ タイヤル発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスを利用できません。
 - ・ 発信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 着信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 位置情報機能の設定変更を許可
 - ・ 発信履歴の閲覧を許可
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、テザリングをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ データ発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、テザリングを利用できません。
 - ・ USB/Bluetooth接続時の通信を許可
- だれとでも定額パス/テザリングを利用中は、以下の動作になります。
 - ・ 本機の着信拒否の設定が無効になります (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信があっても、本機では着信動作を行いません (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信/メール受信をしても、「新着/不在あり」で設定したランプは点灯しません。
- スマートフォン側で「インターネットアクセス」をONにしないと接続できない場合があります。

お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- だれとでも定額パス、テザリングで接続できる機器は各1台です。
- だれとでも定額パスとテザリングは同時に利用できません。
- だれとでも定額パスがOFFのときに、だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で **[]** を押すとダイヤル画面が表示され、発信操作をすることができます。
- だれとでも定額パス/テザリングを終了するには、だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で **[]** **[終了]** ▶ **[]** **[はい]** を押します。
- だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で **[]** **[設定]** を押すと、Bluetoothメニュー画面の **[4]** 「だれとでも定額パス/テザリング設定」を押したときの画面が表示されます (289ページ)。
- 接続したスマートフォンは「だれとでも定額パス/テザリング機器一覧」(289ページ)に登録されます。登録されたスマートフォンと再度接続するには、以下の操作を行います。

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で用途に合わせて **[メール]** 「だれとでも定額パス」と **[WEB]** 「テザリング」を押してONにする ▶ スマートフォンで接続の操作をする
- テザリング中にスマートフォンから本機にデータの送受信要求があった場合は、本機でダイヤルアップを行います。

Bluetooth[®]メニュー画面から接続する（2回目以降の接続）

本機に機器が登録されている場合は、Bluetoothメニュー画面から接続をします。

■ 親機モード／子機モードで接続する

■ 親機モードで接続する場合

Bluetoothメニュー画面で

- 1 (□)「Bluetooth」▶ (□)「ON」▶ 2 「ハンズフリー／電話帳全体受信」▶ (□)「接続モード設定」▶ (□)「親機モード」*

*：Bluetooth機能（親機モード）がONになっている場合は操作不要です。
Bluetooth機能がONの状態でもモードを切り替えたときに「登録機器一覧（親機）」に機器が登録されていない場合は、Bluetooth機器を検索可能な状態にしてから、本機で(□)「はい」を押し、手順4の操作をしてください。

- 2 2 「登録機器一覧（親機）」を押す

- 3 Bluetooth機器を検索可能な状態にする ▶ 電話帳 【検索】

機器が見つからなかった場合は、Bluetooth機器の設定を確認して、手順3の操作を再度行ってください。

- 4 接続する機器を選択し、□ 【接続】 ▶ 接続の操作をする

登録機器一覧
（親機）画面



■ 子機モードで接続する場合

Bluetoothメニュー画面で

- 1 (□)「Bluetooth」▶ (□)「ON」▶ 2 「ハンズフリー／電話帳全体受信」▶ (□)「接続モード設定」▶ 2 「子機モード」*

*：Bluetooth機能（子機モード）がONになっている場合は操作不要です。
Bluetooth機能がONの状態でもモードを切り替えたときに「登録機器一覧（子機）」に機器が登録されていない場合は、本機で(□)「はい」を押し、接続の操作をしてください。

- 2 2 「登録機器一覧（子機）」を押す

- 3 電話帳 【登録】 ▶ 接続の操作をする

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順3の操作を再度行ってください。
接続が完了するとBluetooth機器の詳細情報が表示されます。

登録機器一覧
（子機）画面




お知らせ


- 接続できる機器は、親機モードで最大1台、子機モードで最大2台です。
- 登録機器一覧画面には以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
 (青)	親機モードで接続中／子機モード中に1台目として接続中	 (グレー)	親機モードで接続解除中／子機モード中に1台目として接続解除中
 (青)	子機モード中に2台目として接続中	 (グレー)	子機モード中に2台目として接続解除中

Bluetooth機能をOFFにすると、アイコンが消えます。

- 登録機器一覧に表示される接続機器の件数は以下のとおりです。
 - ・親機モード：20件まで
 - ・子機モード：4件まで
- 親機モードで検索して、機器が新しく見つかった場合は接続機器検索の一覧画面に「」が表示されます。
- 登録機器の一覧画面、検索結果の一覧画面には、以下の機器種別が表示されます。

アイコン	機器種別	アイコン	機器種別
	ヘッドセット機器		携帯電話
	ハンズフリー機器		カーナビ
	パソコン		その他

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- 接続したBluetooth機器は「登録機器一覧」(289ページ)に登録されます。
登録されたBluetooth機器と再度接続するには、登録機器の一覧画面で機器を選択し、【接続】を押します。

■ お知らせシェア[®]で接続する

お知らせシェアを利用するためには、スマートフォンに「お知らせシェアアプリ」をインストールする必要があります(293ページ)。

Bluetoothメニュー画面で

1 [Bluetooth] ▶ [ON] *1

*1：Bluetooth機能がONになっている場合は操作不要です。

2 スマートフォンで「お知らせシェアアプリ」を起動し、「OK」▶「登録開始」

3 5「お知らせシェア」(▶ 3「新しい機器を登録」)*2

*2：本機に機器が登録されている場合に操作します。

4 スマートフォンの「お知らせシェアアプリ」で「デバイスのスキャン」

5 接続の操作をする

● ご注意

- メール到着情報が本機で表示されても、エモーションメッセージは表示されません。
- お知らせシェアは、だれとでも定額バス/テザリング中は利用することができません。

お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- お知らせシェアは、親機モード、子機モードのどちらのモードでも利用することができます。
- お知らせシェアで接続できる機器は1台です。

■ だれとでも定額パス/テザリングで接続する

1 Bluetoothメニュー画面で **4** 「だれとでも定額パス/テザリング設定」 ▶

1 「だれとでも定額パス/テザリング機器一覧」

だれとでも定額パス/テザリング機器一覧画面



2 電話帳 [登録] (▶ 1 「はい」) * ▶ 接続の操作をする

* : だれとでも定額パス/テザリング機器一覧に機器が登録されていないときに、親機モード/子機モード/お知らせシェアで接続している場合に操作します。

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順2の操作を再度行ってください。

3 **■** [待受開始] を押す

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面が表示されます。

4 用途に合わせて **メール** 「だれとでも定額パス」と **WEB** 「テザリング」を押してONにする



スマートフォンで接続の操作をしてください。

ご注意








- だれとでも定額パス/テザリングを起動すると、親機モード/子機モード/お知らせシェアが切断されます。また、テザリング中にヘッドセット/ハンズフリー通話 (300ページ)、またはだれとでも定額パスでの通話 (302ページ) をすると、通話している間はテザリングでの通信ができません。
- 閉めるとロック (226ページ) を設定していても、だれとでも定額パス/テザリング利用中は閉めるとロック機能が無効になります。
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ 発信先限定
 - ・ ダイヤル発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスを利用できません。
 - ・ 発信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 着信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 位置情報機能の設定変更を許可
 - ・ 発信履歴の閲覧を許可
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、テザリングをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ データ発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、テザリングを利用できません。
 - ・ USB/Bluetooth接続時の通信を許可
- だれとでも定額パス/テザリングを利用中は、以下の動作になります。
 - ・ 本機の着信拒否の設定が無効になります (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信があっても、本機では着信動作を行いません (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信/メール受信をしても、「新着/不在あり」で設定したランプは点灯しません。
- スマートフォン側で「インターネットアクセス」をONにしないと接続できない場合があります。












 お知らせ

- バスキーは約30秒以内に入力してください。
- だれとでも定額バス、テザリングで接続できる機器は各1台です。
- だれとでも定額バス/テザリング機器一覧画面には、以下のアイコンが表示されています。

アイコン	説明
	だれとでも定額バスで接続中
	テザリングで接続中

- だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

アイコン	説明
 (青)	本機とスマートフォンがPVPで接続中
 (グレー)	本機とスマートフォンがPVPでの接続解除中
	本機とスマートフォンがPVPでの接続を切断中
 (青)	本機とスマートフォンがPANで接続中
 (グレー)	本機とスマートフォンがPANでの接続解除中
	本機とスマートフォンがPANでの接続を切断中
	PHS回線

- だれとでも定額バスとテザリングは同時に利用できます。
- テザリング中にヘッドセット/ハンズフリー機器と接続して、ヘッドセット/ハンズフリー通話ができます。ヘッドセット/ハンズフリー機器は事前に親機モードで本機に登録してください（「親機モード/子機モードで接続する」293、295ページ）。また、「だれとでも定額バス」をあらかじめOFFにしてください。
だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  **【設定】** ▶  **「テザリング中のハンズフリー機器一覧」**
▶ **接続する機器を選択し、 **【接続】****
※だれとでも定額バスでの通話と、ヘッドセット/ハンズフリー通話は同時にできません。
- だれとでも定額バスがOFFのときに、だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  を押すとダイヤル画面が表示され、発信操作をすることができます。
- だれとでも定額バス/テザリングを終了するには、だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  **【終了】** ▶  **「はい」** を押します。
- だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  **【設定】** を押すと、Bluetoothメニュー画面の  **「だれとでも定額バス/テザリング設定」** を押したときの画面が表示されます（289ページ）。
- 接続したスマートフォンは「だれとでも定額バス/テザリング機器一覧」（289ページ）に登録されます。登録されたスマートフォンと再度接続するには、以下の操作を行います。
だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で用途に合わせて  **「だれとでも定額バス」** と  **「テザリング」** を押ししてONにする ▶ **スマートフォンで接続の操作をする**
- テザリング中にスマートフォンから本機にデータの送受信要求があった場合は、本機でダイヤルアップを行います。

待受画面からBluetooth[®]機能の操作をする

待受画面からBluetooth機器と接続したり、Bluetooth機能をOFFにすることができます。

待受画面で **Bluetooth** を長く (1秒以上) 押す

以下の項目から操作します。

<p>1 ハンズフリー／お知らせシェア</p>	<p>■ 本機に機器が登録されている場合 機器と自動的に接続します。</p> <p>■ 本機に機器が登録されていない場合 ▶ 1 「はい」 ▶ Bluetooth接続モード選択画面が表示されるので、接続の操作をする (292ページ)</p>
<p>2 だれとでも定額バス／テザリング</p>	<p>■ 本機に機器が登録されている場合 だれとでも定額バス／テザリングを起動します。本機に登録されているスマートフォンと接続するには、スマートフォンで接続の操作をしてください。</p> <p>■ 本機に機器が登録されていない場合 ▶ 1 「はい」 ▶ 接続の操作をする ▶ 2 「待受開始」 ▶ 用途に合わせて ▶ 3 「だれとでも定額バス」とWEB「テザリング」を押してONにする スマートフォンで接続の操作をしてください。</p>
<p>3 利用しない (OFF)</p>	<p>接続をしないで終了します。Bluetooth機能がONのときはBluetooth機能をOFFにします。</p>

接続機器との各種操作をする

登録機器一覧画面、だれとでも定額バス／テザリング機器一覧画面、テザリング中のハンズフリー機器一覧画面のメニューから各種操作ができます。

登録機器一覧画面で／だれとでも定額バス／テザリング機器一覧画面で／テザリング中のハンズフリー機器一覧画面で

カク 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

<p>切断*</p>	<p>▶ 1 「はい」を押す 接続している機器との接続を切断します。 機器と接続していないときは表示されません。</p>
<p>削除</p>	<p>▶ 1 「1件」または2 「全件」 一覧にある機器を削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。</p>
<p>詳細情報</p>	<p>選択した機器の名称、種別、アドレス、対応サービス (プロファイル)、電話番号 (子機モードの場合のみ) が表示されます。</p>

* : 登録機器一覧画面でのみ表示されます。

注意

● 機器が登録されていない場合は、295 【メニュー】は表示されません。

お知らせ

● お知らせシェアで接続している機器との各種操作は、Bluetoothメニュー画面 (289ページ) で5 「お知らせシェア」を押して行います。

● だれとでも定額バス／テザリング機器一覧画面、またはテザリング中のハンズフリー機器一覧画面で機器との切断操作をするには、機器を選択し2 「切断」 ▶ 1 「はい」を押します。

Bluetooth®を利用した通話操作をする

本機をBluetooth機器と接続して通話することができます。

ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話する（親機モード）

本機の回線を利用して、接続したヘッドセット/ハンズフリー機器で通話することができます。あらかじめ本機を親機モードでBluetooth接続してください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。詳しい操作方法については、ヘッドセット/ハンズフリー機器の取扱説明書をご参照いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

■ 電話をかける場合

- 1 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器で発信操作をする
- 2 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器、または本機で終話操作をする

■ 電話を受ける場合

- 1 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器で応答操作をする
- 2 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器、または本機で終話操作をする

📢 ご注意

- ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話中、本機では音量の変更ができません。ヘッドセット/ハンズフリー機器から操作してください。
- 緊急通報（49ページ）後、5分程度の間は、いかなる電話番号からも音声着信します。

📢 お知らせ

- ヘッドセット/ハンズフリー機器と接続中は、通話機器として選択している機器（本機、またはヘッドセット/ハンズフリー機器）からのみ音が聞こえます。
- 通話中に以下の操作を行うと、通話する機器を切り替えることができます。通話設定した機器からのみ音が聞こえます。
通話中に 「通話切り替え」を選択し、 「選択」 「本機」 / 「接続先」
または
通話中に を長く（1秒以上）押す
- 本機側で発信操作/応答操作をした場合、ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話ができない場合があります。ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話するには、本機側で切り替え操作をしてください。
- ミュート中に通話する機器を切り替えても、ミュートは解除されません。
- 「+（プラス）」付きの電話番号に発信すると、「+（プラス）」が「010」に変換されて発信されます。

Bluetooth®通話する（子機モード）

接続した電話機（スマートフォンなど）の回線を利用して、本機で電話をかけたり（Bluetooth発信）、かかってきた電話を受けたり（Bluetooth着信）することができます。あらかじめ本機を子機モードでBluetooth接続してください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。

■ 電話をかける場合

- 1 本機で発信操作をする 2 「<XXXXXX>からBluetooth発信」（または 3 「<XXXXXX>からBluetooth発信」）*

*：本機が2台の電話機（スマートフォンなど）にBluetooth接続しているときに操作します。「XXXXXX」は登録されている機器名です。

- 2 接続した電話機（スマートフォンなど）、または本機で終話操作をする

■ 電話を受ける場合

1 本機で応答操作をする

2 接続した電話機（スマートフォンなど）、または本機で終話操作をする

🔔 ご注意

- Bluetooth通話をする場合でも、本機で操作ロック（229ページ）の「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されているときは、電話をかけるときに暗証番号を入力する必要があります。また、「発信先限定」が「限定」に設定されているときは、「発信先一覧」（230ページ）に登録されている電話番号と完全一致、または前方一致する電話番号にのみ、電話をかけることができます。
 - Bluetooth通話をする場合でも、本機で操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」、または管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されていると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきても、電話帳に登録した名前は表示されません。
 - 電話機（スマートフォンなど）側でロック機能などにより制限をしていますが、本機でBluetooth発信／着信ができる場合があります。
 - Bluetooth通話では、以下の機能はご利用になれません。

<ul style="list-style-type: none"> ・ マナートーク ・ しっかりリンク ・ プッシュ信号の送出（HSP接続時のみ） ・ 音声メモの録音／再生／削除 ・ 伝言メモの応答／再生／削除 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Myボイスメモの再生 ・ 本機での着信拒否 ・ サービス問合せ ・ Li機能の利用
--	--
 - Bluetooth着信の場合でも、イヤホン利用中に「イヤホン自動応答秒数」で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受けます。
 - 電話機（スマートフォンなど）でリモートロックのコマンドを受信しても、本機にはリモートロックはかかりません。
 - 電話機（スマートフォンなど）への転送電話も本機で受けることができます。ただし、転送元の電話番号を表示することはできません。
- 🔔 お知らせ**

 - 接続中の電話機（スマートフォンなど）で発信があった場合、本機でも動作画面が表示されます。このとき、電話機（スマートフォンなど）によっては、電話機（スマートフォンなど）側での通話になる場合があります。また、本機が2台の電話機（スマートフォンなど）に接続しているときに、接続した2台が同じタイミングで発信をした場合、先に発信があったほうの電話機（スマートフォンなど）と動作が連動します。
 - 通話する機器（本機または電話機（スマートフォンなど））を切り替える場合は、電話機（スマートフォンなど）側で切り替え操作をしてください。
 - Bluetooth通話の場合、通話中の機器からのみ音が聞こえます。
 - Bluetooth通話中は画面に「📞」と、通話している機器名が表示されます。
 - Bluetooth通話の履歴は本機の履歴画面でも表示されます。履歴画面では「📞」が表示されます。
 - Bluetooth通話中にPHS電話番号に着信があったときは、【PHS切替】▶️📞*で電話を受けることができます。着信を拒否する場合は、着信中に【PHS切替】▶️📞を長く（1秒以上）押します。PHS回線での通話に切り替えた場合、Bluetooth通話は保留になります。
 - *：エニーキーアンサーを設定している場合は、**[0]～[9]**、**[*]**、**[#]**、**[M-L]**、**Bluetooth**、**📞**でも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定／解除する」266ページ）。
 - PHS回線で通話中にBluetooth着信があったときは、【Bluetooth切替】▶️📞*でBluetooth着信の電話を受けることができます。着信を拒否する場合は、着信中に【Bluetooth切替】▶️📞を長く（1秒以上）押します。Bluetooth通話に切り替えた場合、PHS回線での通話は保留になります。
 - *：エニーキーアンサーを設定している場合は、**[0]～[9]**、**[*]**、**[#]**、**[M-L]**、**Bluetooth**、**📞**でも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定／解除する」266ページ）。
 - 伝言メモ（57ページ）、安全運転モード（64ページ）、着信拒否（227ページ）を設定している場合、Bluetooth通話中にPHS電話番号に着信があったときは、伝言メモ、安全運転モード、着信拒否の応答をします。
 - Bluetooth通話でも184発信、186発信ができます。
 - Bluetooth着信中は、PHS回線での着信とほぼ同様の操作（54ページ）ができます。
 - Bluetooth着信中は、電話帳データの「着信設定」で設定した内容で動作します。
 - Bluetooth着信中にシャッター／メモ（サイドキー）を押すと、着信音をOFFにします。

スマートフォンでPHS回線を利用して電話をかける（だれとでも定額バス）

スマートフォンと本機を接続して、スマートフォンでPHS回線を利用して電話をかけることができます。あらかじめだれとでも定額バス/テザリングで接続し、だれとでも定額バスの機能をONにしてください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。

だれとでも定額バスを利用するためには、スマートフォンに「だれとでも定額バスアプリ」をインストールする必要があります。「だれとでも定額バスアプリ」はGoogle Play™からダウンロードすることができます。

■ 電話をかける場合

1 接続したスマートフォンで「だれとでも定額バスアプリ」から発信操作をする

2 接続したスマートフォンで終話操作をする

■ 電話を受ける場合

1 接続したスマートフォンで応答操作をする

2 接続したスマートフォンで終話操作をする

📢 ご注意

- 「だれとでも定額」にご加入いただかなくてもご利用になれます。ただし、通話時に本機のPHS回線の通信料金ががかかります。
- だれとでも定額バスを利用中は以下の動作になります。
 - ・ 本機で電話をかけることはできません。
 - ・ 迷惑電話チェッカーは利用できません。
- 本機で以下の操作ロック（229ページ）で制限されているときは、だれとでも定額バスをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ 発信先限定
 - ・ タイヤル発信
- 本機で以下の管理者ロック（239ページ）で制限されているときは、だれとでも定額バスを利用できません。
 - ・ 発信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 着信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 位置情報機能の設定変更を許可
 - ・ 発信履歴の閲覧を許可

📢 お知らせ

- だれとでも定額バスでの通話履歴は本機の履歴画面でも表示されます。履歴画面では「PWS」が表示されます。
- 本機で安全運転モード中（64ページ）でも、接続したスマートフォンで応答することができます。
- 「だれとでも定額バスアプリ」の操作について詳しくは、「だれとでも定額バスアプリ」のヘルプなどをご参照ください。

● 電話帳データをBluetooth®で送受信する

電話機（スマートフォンなど）と接続して、電話帳データを受信して本機に登録したり、相手に送信したりすることができます。あらかじめ電話機（スマートフォンなど）と親機モード／子機モードで接続してください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。親機モード、子機モードのどちらでも送受信することができます。

🔍 ご注意

- 電話帳データを1件ずつ送受信することはできません。
- 操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されていても、Bluetoothで電話帳データの受信・登録をすることができます。
- 管理者ロックの「電話帳の編集を許可」（242ページ）または「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されているときは、電話帳データを受信することができません。
- 送受信できるデータ容量は最大4Mバイトです。
- 電話帳データ送受信中は、以下の機能の指定時刻が経過しても、起動しません。電話帳データ送受信完了後に起動します。
 - ・アラーム
 - ・スケジュールアラーム
 - ・TODOアラーム
 - ・Java™自動起動

Bluetooth®で受信する

Bluetoothメニュー画面で

- 1 2 「ハンズフリー／電話帳全件受信」 ▶ 4 「電話帳全件受信」 (▶ 1 「XXXXXX」(または 2 「XXXXXX」) *1) *2

*1：子機モード中に2台のBluetooth機器と接続している場合に操作します。

*2：子機モード中の場合に操作します。

「XXXXXX」は登録されている機器名です。

電話機（スマートフォンなど）側で画面の指示に従って操作します。
以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 追加登録	受信した電話帳データを本機に追加登録します。
<input type="checkbox"/> 2 上書き登録	▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」 ▶ 暗証番号を入力 本機に登録済みの電話帳データを削除して、受信した電話帳データを上書き登録します。上書き登録した場合、同時にプロフィールも上書きされます。
<input type="checkbox"/> 3 登録しない	受信したデータを破棄します。

🔍 ご注意

- 受信できる電話帳データの件数は、最大1001件です。

🔊 お知らせ

- 受信した電話帳データがシークレット登録されている場合、本機でもシークレット登録されます。
- 受信した電話帳データの件数が、本機で受信できる最大件数の1001件を超えた場合、上限を超えた電話帳データは破棄されます。
- 登録できない電話帳データが含まれていた場合は、登録できた件数、登録できなかった件数が表示されます。

Bluetooth®で送信する

相手からの送信要求受信後

- 1 1 「はい」を押す

- 2 暗証番号を入力

🔍 ご注意

- 相手側の機器が電話帳全件送信要求できる機器の場合のみ、電話帳データを送信できます。
- 本機で待受画面が表示されていないときは、相手から送信要求を受信できません。
- 電話帳データに登録された画像データは送信されません。

データ通信の使いかた

● データ通信の準備をする

パソコンと本機をUSBケーブル（別売）で接続してデータ通信をするために必要なものは、以下のとおりです。

- ・USBケーブル（USB（A）オスーUSB（Micro-B）オス）
- ・USB端子を備えたノートパソコンなど各種情報端末
- ・通信ソフト

● データ通信について

本機で利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式	最大通信速度	説明	付加番号
4xパケット方式	400kbps*	ウィルコムが提供する、パケット通信方式です（W-OAM typeG対応）。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。	##64
2xパケット方式	200kbps*	数分程度電波が弱くなったたり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。	##64
1xパケット方式	100kbps*	ご利用になるには、ウィルコムの4x/2x/1xパケット方式に対応した料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。	##61
フレックスチェンジ方式	100kbps*	ウィルコムが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS（ベストエフォート方式）の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式に対応した料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。	##7
64kPIAFS	ベストエフォート方式	64kbps	##4
	ギランティ方式	64kbps	
32kPIAFS	32kbps	PHSの通信標準規格の通信方式です。	##3

*：W-OAM typeG対応地域における最大通信速度となります。

W-OAM非対応地域では、それぞれ以下ようになります。

4xパケット方式：128kbps

2xパケット方式：64kbps

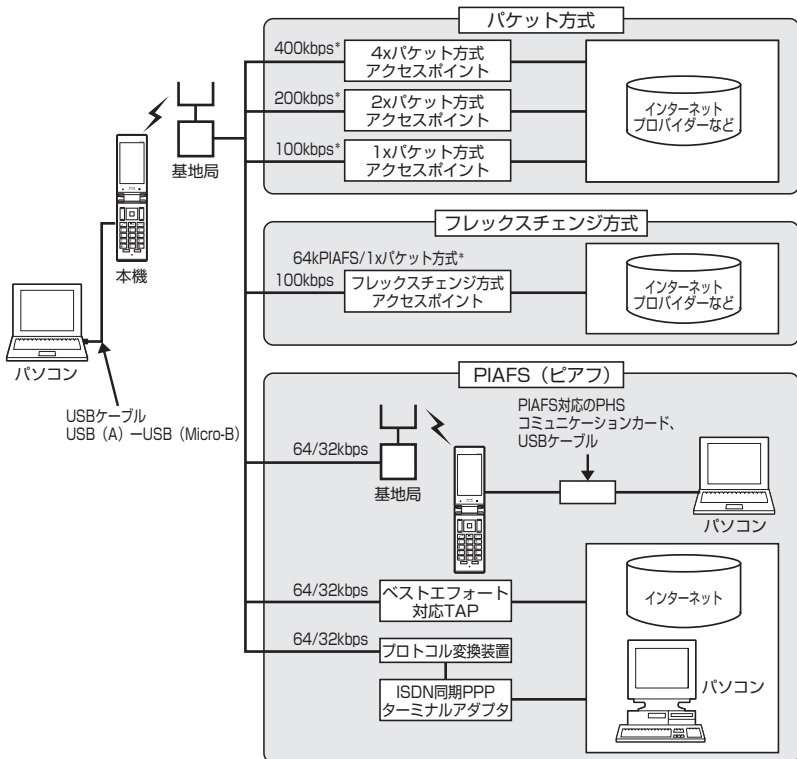
1xパケット方式：32kbps

● ご注意

- パケット方式を使用する場合は、「発信者番号通知」（52ページ）を「ON」に設定してください。
- パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダーによっては「発信者番号通知」（52ページ）を「ON」に設定する必要があります。
- ダイヤルアップ用の電話番号の最後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されているときは、USBケーブル（別売）を用いたデータ通信を利用することができません。
- Bluetooth通話中／発信中／着信中はデータ通信を利用することができません。

● お知らせ

- W-OAM typeGとは、電波状況に応じて、最適な変調方式を自動的に選択する無線技術です。



*: W-OAM typeG対応地域における最大通信速度となります。
W-OAM非対応地域では、それぞれ以下のようになります。
4xパケット方式: 128kbps
2xパケット方式: 64kbps
1xパケット方式: 32kbps

お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

● 64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）

機能番号92

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：
「ベストエフォート型」

待受画面で

□ ▶ 9 ▶ 2 ▶ 1 「ベストエフォート型」または 2 「ギャランティ型」



- ウィルコムと契約をされている場合は、1 「ベストエフォート型」に設定してください。
- ウィルコム以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

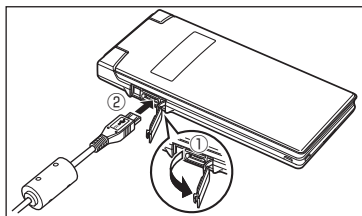
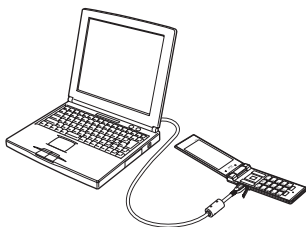
● 本機とパソコンを接続する

データ通信をするために本機とパソコンをUSBケーブル（別売）で接続します。USBドライバは、京セラホームページ（<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/>）からダウンロードし、あらかじめパソコンにインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れる

2 本機を待受画面にし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

接続が完了し、USBモードの選択が可能な状態になったときは「ピポ」という確認音が鳴ります。



外部接続端子のカバーを①の方向に開き、②の方向にUSBケーブルをまっすぐ差し込んでください。

3 本機で 1 「モデム」を押す

4 パソコンの操作を行う



- USBケーブルを本機に差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときはコード部分を引っ張らないで、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。
- USBケーブルで本機とパソコンを接続するときは、パソコンの高温排気が本機にあたらないように、パソコンと本機を離してください。
- すでに本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、マストレージとしての利用やデータ転送を行っている場合、または手順3で機能を選択しなかった場合にモデムとして利用するときは、以下の操作を行います。（▶ パソコンからUSB切断の操作をする）* ▶ USBケーブルを本機から抜く ▶ 手順2～3の操作をする* : マストレージ接続中の場合に操作します。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されているときは、USBケーブルを用いたデータ通信を利用することができません。





- USBケーブルを取りはずすときは、パソコンからUSB切断の操作をした後に、USBケーブルを本機から抜いてください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。

● 発信する

待受画面で 本機とUSBケーブル（別売）で接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

- 本機のディスプレイに通信方式の種別がアイコン文字で表示されます。
表示されるアイコンは以下のとおりです。

	パケット方式
	フレックスチェンジ方式


	64kPIAFS（ベストエフォート型）
	64kPIAFS（ギャランティ型）
	32kPIAFS

- アクセスポイントに接続すると、本機のメインディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

ご注意

- 以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・電波状態が悪い場所でのご利用
 - ・移動しながらのご利用
- 以下の場合は、データ発信を利用することはできません。
 - ・閉めるとロック（226ページ）の設定によるダイヤルロック中るとき
 - ・操作ロック（229ページ）の「データ発信」が「禁止」に設定されているとき
 - ・管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されているとき

お知らせ


-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- 確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前に本機のバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 分計発信をするときは、電話番号の最後に「01」を入力します（「分計サービスについて（お申し込み必要）」314ページ）。
例：「03-△△△△-△△△△##4,01」
なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
- データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記憶されません。
- データ通信中に本体を閉じてもデータ通信は切断されません。
- 通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは、通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
- 以下の状態でのご利用は通信速度が遅くなる場合があります。
 - ・電波や回線の状態が悪い場合。
 - ・パソコンの通信設定が遅い場合。パソコンの設定を確認してください。
 - ・メインディスプレイに「パケット」、「32kPIAFS」、「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

● 着信する


データ通信中に パソコンで着信の操作を行う

- 本機のメインディスプレイに「データ着信」と表示されます。データ通信を終了するときは、パソコンからデータ通信を切断します。

ご注意

-  を押して応答することはできません。
- 管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」(242ページ)が「限定する」に設定されているときは、電話帳に登録されていない電話番号からのデータ着信を受けることができません。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」(245ページ)が「許可しない」に設定されているときは、着信しますが応答することができません。

お知らせ

-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- 電話帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合は、電話帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
 - ・ シークレットモード (231ページ) が「OFF」、および該当する電話帳データの「シークレット設定」(77ページ)が「ON」に設定されているとき
 - ・ 操作ロック (229ページ)の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されているとき
 - ・ 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」(246ページ)が「許可しない」に設定されているとき
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、「閉めるとロック」が設定されていても、着信することができます。
- データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。

